

第八十一回 帝國議會院

昭和十八年二月二十四日(水曜日)午前十時  
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

理事阿子島俊治君 理事羽田武嗣郎君  
理事水谷長三郎君 理事森口 淳三君

出席政府委員左ノ如シ	高橋壽太郎君
金光	邦三君
菊地養之輔君	久雄君
楠美	省吾君
中村	梅吉君
金井	正夫君
庄司	一郎君
一松	定吉君
三浦	一雄君
蠟山	政道君
北	吟吉君
白川	久雄君
鈴木	正吾君
小野寺	有一君
永野	護君
濱田	尙友君
牧原源	一郎君
金子	定一君
渡邊	泰邦君
有馬	英治君

内閣恩給局長 平木 弘君  
内閣東北局長 宇都宮孝平君  
法制局參事官 佐藤 基君  
燃料局部長 山口 六平君  
鐵道監 小林 紫朗君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東北興業株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）  
會計檢查院法中改正法律案（政府提出、貴

○前田委員長　是ヨリ會議ヲ開キマス、恩  
給法中改正法律案ニ付テノ質疑ニ入りマ  
ス——金井正夫君

フノデアリマス、所ガ之ニ倣ツテ又官吏ヲ  
辭メラレテ、相當ナ恩給ヲ貰ツテ居ル人々  
ガ、此ノ統制會社ニ入リマシテ、今マデノ  
俸給ノ殆ド何倍、今ノ七、五、三ニ倣ツテ  
相當ナ高給ヲ取ツテ居ラレルコトヲ、吾々  
ハ耳ニ致シテ居ルノデアリマス、是ガ延イ  
テハ社會思想上ノ問題ニ及ボス點モ、甚大  
デアルダラウト私ハ思フノデアリマシテ、  
寧ロ根本的ニ其ノ俸給ヲ止メテ、恩給ヲ澤  
山取ツテ居ルトカ、或ハ相當ノ財産ヲ持ツ  
テ居ルトカ云フ人々ハ、欣シテ奉仕的ニ其  
ノ會社ノ社長或ハ理事、サウ云フヤウナモ  
ノニナツテ戴キタイト實ハ念願シテ居ルノ  
デアリマス、ソコデ御尋ネシタイノハ、其  
ノ恩給ヲ取ツテ居リマス人々ガ統制會社等  
ニ就任サレテ、多額ノ俸給ヲ取ル場合ニ於  
テハ、今法文ニアリマス恩給ノ一部停止デ  
ナクシテ、全額停止ノ御意思ハナイカドウ  
カ、此ノ點デアリマス

○平木政府委員 只今高額所得者ニ對シ  
テ、之ヲ全額停止シテハドウカト云フ御質  
問デゴザイマスガ、此ノ恩給法上ニ於キマシ  
テ、恩給ノ高額所得者ニ對スル一部停止  
ハ、只今御述べニナリマシタ通リニ、現  
在ノ規定ニ依リマスト、最高三割マデ停  
止致シテ居ルノデアリマス、ソレデ更ニ  
其ノ三割停止ヲ進メテ全額停止ニシタラ  
ドウカト云フ問題ニナツテ參リマスガ、  
此ノ問題ヲ考ヘマス場合ニハ、一體恩給

ノ本質ハ何デアルカト云フコトヲ私共常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、恩給ノ本質ハ何カト云フコトニ付キマシテハ、非常ニヤカマシイ議論ガアルノデアリマシテ、中々面倒ナ問題デアリマスルガ、例ヘバ恩給法ニ於キマンシテハ之ヲ權利ト解釋スル、然ラバソレガ權利ト云フコトダケデ押セルカト申シマスト、中々サウモ行キ兼ネルノデアリマス、權利トハ書イテアルケレドモ、實質上カラ見マスルナラバ、是ハ有難イ國ノ恩典ダトモ言ハナケレバナラナイト云フ風ニモ考ヘラレマス、又現在官吏ハ、毎月俸給ニ對シマシテ一定ノ割合デ納金シテ居ルノデアリマス、金額ハ僅カデアリマスガ、毎月掛金ノヤウナコトヲ致シテ居リマス、サウ云フ性質カラ見マスルト一種ノ保険ノヤウナ性質モ持ツテ居ルノデゴザイマス、ソレカト申シマシテ、又一面カラ申シマスト、恩給ト云フノハ結局一部繰延給與ヲ支給シテ居ルト云フヤウナ論モアルノデアリマス、其ノ外色々恩給ノ本質ニ付キマシテハ議論ノアル所デアリマスガ、サウ云フムヅカシイ論ハ別ト致シマシテ、要スルニ恩給ノ本質ヲ考ヘテ見マスルト、官吏ハ在职中報酬モ非常ニ少イ、ソレデ退職後ノ生活ヲ安定セシムル爲ニ恩給ヲ受ケル、斯ウ云フ風ニ大體言ヘルノデヤナイカト思ヒマスサウ云フ意味カラ申シマシテ、ソレデハ退職後ニ恩給以外ニ相當ノ收入ノアル人ハ、恩

付託議案（審査終了ノモノヲ除ク）  
恩給法中改正法律案（政府提出）貴  
族院送付中改正法律案（第六七號）  
東北興業株式會社法中改正法律案  
（政府提出）貴族院送付（第五八  
號）  
會計、檢査院法中改正法律案（政府  
提出）貴族院送付（第六一號）（政府

給ヲ辭退シタラ宜イデヤナイカト云フ論アズ、アリマス、併シ全額之ヲ停止致スコトニナリマスト、今申上ゲマシタヤウナ恩給ノ本質カラ考ヘマシテ、恩給ガ國ノ恩典デアルト云フ點カラ考ヘマシテ如何デアラウカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、若シ恩給ガ今申シマシタヤウナ複雜ノ性質ヲ持ヌデ、唯全部ガ國ノ恩典デアル、オ上ノ恩典デアルト云フノデアリマシタナラバ、是ハ勲章年金、或ハ一時金ト同ジヤウニ、全然停止ノ問題ハ起ラナイノデアリマスルガ、勿論私ガ申シマスルノハ、全部ガ恩典タル性質ヲ持ツテ居ルト云フ意味デハアリマセヌガ、恩典タル性質ヲ持ツテ居ルト云フ點カラ考ヘテ、全然支給シナイヤウニスルノハ、是ハ餘程顧慮シナケレバナラヌ問題デハナイカト思ヒマス、ソレカラ先刻申シマシタモウ一つノ點、一定ノ掛金ヲ致シテ居ルト云フ點カラ申シマシテモ如何カ、此ノ點ハ餘程考究ヲ要スル點デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデゴザイマス、殊ニ此ノ停止ノ問題ハ、昭和八年ニ創設サレタ問題デアリマシテ、ソレカラ昭和十五年ニ増率ヲ致シテ居リマス、サウ云フ風ナ關係デアリマシテ、サウ云フ問題ハサウ屢々改變スルノハ適當デハアルマイト云フ考ヘカラ、實ハ斯ウ云フコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、唯今申サレマシタヤウナ趣旨ニ於キマシテ、恩給ヲ貰ツテ居ル者ガ、此ノ非常時局ニ國家ニ對シテ大イニ各、カラ厚イ保護ヲ受ケテ居ルコトヲ能ク自覺盡サナケレバイカスト云フ點ハ、洵ニ御尤シマシテ、國民ニ垂範、一意此ノ非常時局

○金井委員 只今恩給ノ本質ニ付テ御述べ  
ニナラレマシタガ、勿論一ツハ恩典ノ意味  
モ含マレテ居リマセウガ、多クハ其ノ退職  
後ニ家族或ハ本人ガ、生活ニ困ルヤウナコ  
トガアツテハナラナイ、サウ云フヤウナ老  
婆心カラ恩給法ガ制定サレテ居ルト思ヒマ  
スガ、唯今折角其ノ恩典ヲ預ケテ居ルノニ、  
之ヲ全額免除スルト云フコトハドウカト云  
フヤウナ老婆心カト私ハ思ヒマス、併シ既  
ニ昭和八年ニ於テ今ノ高額所得者ニ對シテ  
一部停止ヲサレ、十五年ニ於テ増額ヲサレ  
テ居ル點カラ見レバ五十歩百歩デ、高率ニ  
シテ——私ハ之ヲ最嚴重ニ停止セヨト云フ  
ノデハナイノデアリマシテ、高額所得ヲ得  
テ居ル者、殊ニ今日ノヤウニ統制會社ガ雨  
後ノ筈ノ如ク出來テ、其ノ社長、理事長ア  
タリニ於テ多額ノ俸給ヲ貰ツテ居ルナラバ、  
何等生活ニモ困ルヤウナコトガナイデハナ  
イカ、其ノ期間ダケ其ノ高額所得者ニ對シ  
テ停止ヲサレタラドウカト云フ意見デアリマ  
ス、此ノ點ニ對シテハ特ニ將來御考ヘニナ  
ラレル必要ガアルト思ヒマスノデ、此ノ意  
見ヲ申上ガテ置キタイト思ヒマス

次ニ市役所トカ云フヤウナ所ナドデ恩給  
ヲ貰ツタ人ガ、或ハ又官廳ニ行キマスト恩  
給ガ併給サレルコトニナツテ居リマスガ、  
コトニ止メラレテ、併給ト云フコトハ今後  
オ止メニナラレタラドウカト考ヘマスガ、  
當局ノ御意見如何デアリマセウカ

ノ恩給ノ併給ノ問題デアリマスガ、之ヲ併給スルガ宜イカ、或ハ通算スルガ宜イカ、實ハ私共ノ方デモ今マデ色々研究シテ居ルノデアリマス、成程仰シャルヤウニ併給スルト云フコトモ、私ハ必ズシモ適當ナ制度トハ思ヒマセヌ、殊ニ官吏ト公吏ト申シマスレバ、實質上カラ云ヘバ其ノ携ハル事務ノ内容ハ非常ニ似タモノデアリマス、其ノ點カラ考ヘマスレバ洵ニ其ノ通リデアリマスガ、唯現在ノ制度カラ行キマスト市町村財政ト申シマスカ、ソレト國ノ財政ト云フモノガ全然別個ノ建前ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、恩給ダケヲ兩方同ジヤウニ通算制度ニスル、全ク別ナモノニシナイト云フコトニ付テハ、制度ノ上デハ相當困難ナ問題ガアルノデアリマス、サウ云フ點ヲドウ考ヘルカト云フ點デ非常ニ難カシイ點ガアリマスノデ、御承知ノヤウニ先達ニ市町村吏員ノ周給組合令ト云フモノヲ、内務省ノ方デ作ルト云フコトニ實ハ現在進ンデ居ル、ト通算ト云フコトデナシニ、別ナ恩給制度併シ此ノ問題ハ御話ノヤウナ點モ洵ニ尤モノ點モゴザイマスノデ、尙ほ今後能ク研究ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

○金井委員 ソレカラ私ハ恩給法ヲモツト根本的ニ改正サレテ、現在ノ官吏軍人ダケデナクシテ一般ニ之ヲ及ボスト云フ御意思ハナイカ、此ノ點デアリマス、今日ニ於テハ統制經濟ガ非常ニ強化セラレテ、中小商工業者ガ父祖傳來ノ職業ヲ失ツテ、今統制會社ナドニ入ツテ俸給生活ヲ致シテ居リマス、又產業方面ニ於テハ、產業戦士ガ血ミハドロノ戰ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今

日ニ於テハ前線タルト銃後タルトヲ問ハズ  
一億戰場デアリマスル爲ニ、私ハ此ノ俸給  
被徵用者トカ、或ハ防空ノ監視員トシテ晝  
夜働くテ居ル人々、ソレカラ運送業ニ關係  
致シテ居リマスル所ノ人々、陸上ニ於テハ  
鐵道官吏ハ勿論官吏トシテ恩給ガ貴ヘテ居  
リマスシ、又關釜連絡ノ如ク鐵道經營ノ船  
舶會社ノ從業員ガ命ヲ的ニシテ運輸事業  
ニ携ハツテ居ル、其ノ功績モ認メテ行カナ  
ケレバナラヌト思ヒマスノデ、斯ウ云フヤ  
ウナ人々ニ對シテハ何カノ方法ヲ以テ、國  
家的ニ優遇スルヤウナ方途ヲ講ジナケレバ  
ナラヌノデヤナイカ、最近健康賞トカ或ハ  
大臣賞トカ多少優遇サレツツアリマスガ、  
私ハ強ヒテ申上ゲルナラバ、ヤハリ官吏ト  
同ジク位階勳等マデヤルヤウナ制度ヲ今後  
ハ認メテ斯ウ云フ人々ニ對シマシテモ——  
同ジ戰士デス、產業戰士ニ與ヘルヤウナ方  
法ヲ講ゼラレル必要ガアルノデヤナイカ、  
斯様ニ思ヒマス、サウ云フヤウニシテ精神  
的ニ彼等ヲ優遇スルト共ニ、又一方ニ於テ  
ハ恩給法ヲ改正シテ、幾ラカノ恩給ヲ與ヘ  
ルト云フヤウナコトマデシテ行カナケレバ  
イカヌノデヤナイト思ヒマスノデ、御尋  
ネヲ致ス次第ゴザイマス

其ノ方デ實ハ保護ヲ加ヘテ居ルノデゴザイマス、是ハ恩給局デハ取扱ツテ居リマセヌガ、厚生省ノ方デ取扱ツテ居ルノデアリマス、此ノ労働者年金モ、官吏ニ對スル恩給モ、厚薄ハ別ト致シマシテ實質ハ同ジモノデアリマス、恩給局デ取扱ツテモ宜イノデアリマスルガ、厚生省デ勞務一般ニ付テ主導致シテ居リマスル關係上、其ノ方デ取扱ツタ方ガ便利デアラウ、能ク實情ガ分ルデアラウト云フ趣旨ノ下ニ、產業戰士、一般勞働者ノ實質上ノ恩給制度ニ付キマシテハ、厚生省ノ方デ取扱ツテ居ルノデアリマス、決シテ官公吏ダケニ恩給制度ハ限ツテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、唯恩給局厚生省ガ取扱ツテ居ナイト云フダケデアリマス、唯厚生省ガ取扱ツテ居リマスサウ云フ産業戰士、其ノ他ノ者ニ對スル實質上ノ恩給制度、現在ノ法律デ行キマスレバ年金制度其ノ他ノ諸制度ガ、果シテ十分カドウカト云フコトニナリマスト、是ハ實ハ厚生省ノ問題デゴザイマシテ、私カラ何トモ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマスノデ、必要ガアリマスレバ又ソチラノ方カラ御答ヘ申上ゲルコトト存ジマス

○金井委員 私ハ、恩給法ノ恩典ヲ受ケテ居ルノハ官吏ダケダ、斯ウ一般的ニ見ラレルト云フコトガイケナイ、ソコデ今御話ノヤウニ勞務者ナドニ對シマシテハ、厚生省デ多少色々ノ方法ヲ講ジテ居ルヤウデアリマスガ、官吏ダケガ其ノ恩典ニ與ツテ、他ノ產業戰士ナドハソレニ與ラナイト云フヤウナ氣持ヲ、一般國民ニ與ヘルト云フコトハイカヌノデヤナイカ、ソコデ一般產業戰士ニ對シマシテモ此ノ恩給法ノ制定ヲシテ、ソコニ官吏、產業戰士ト云フヤウナ區別

モ、厚薄ハ別ト致シマシテ實質ハ同ジモノデアリマス、恩給局デ取扱ツテ居ルノデアリマス、此ノ労働者年金モ、官吏ニ對スル恩給モ、厚薄ハ別ト致シマシテ實質ハ同ジモノデアリマス、恩給局デ取扱ツテモ宜イノデアリマスルガ、厚生省デ勞務一般ニ付テ主導致シテ居リマスル關係上、其ノ方デ取扱ツタ方ガ便利デアラウ、能ク實情ガ分ルデアラウト云フ趣旨ノ下ニ、產業戰士、一般勞働者ノ實質上ノ恩給制度ニ付キマシテハ、厚生省ノ方デ取扱ツテ居ルノデアリマス、決シテ官公吏ダケニ恩給制度ハ限ツテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、唯恩給局厚生省ガ取扱ツテ居ナイト云フダケデアリマス、唯厚生省ガ取扱ツテ居リマスサウ云フ産業

戰士、其ノ他ノ者ニ對スル實質上ノ恩給制度、現在ノ法律デ行キマスレバ年金制度其ノ他ノ諸制度ガ、果シテ十分カドウカト云フコトニナリマスト、是ハ實ハ厚生省ノ問題デゴザイマシテ、私カラ何トモ申上ゲ兼ネル譯デゴザイマスノデ、必要ガアリマスレバ又ソチラノ方カラ御答ヘ申上ゲルコトト存ジマス

○平木政府委員 現在若イ者モ恩給ヲ貰ツテ居ルコトハドウダラウカト考ヘルノデアリマス、恩給ヲ與ヘルコトハ勿論必要デアリマスガ、其ノ名目ヲ何トカ變ヘテヤルト云フヤウナコトハドウダラウカ、斯ウ考ヘマスノデ、當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○平木政府委員 現在若イ者モ恩給ヲ貰ツテ居リマスガ、サウスルト、ドウモ今御話ガアリマシタヤウニ、何トナク老年振ツタヤウナ、隱居スルヤウナ氣持ガ起ルト云フ風ニ私モ實ハ觀テ居ルノデアリマス、併シノヤウニ勞務者ナドニ對シマシテハ、言葉ガアルカラサウナルノカ、サウ云フ制度ガサウスルノカ、是ハ色研究シナクテハナラヌト思ヒマス、成程是ハ恩給ト云フ言葉ガアルカラサウナルノカ、サウ云フ制度ガサウスルノカ、是ハ色或ル場合ニ於キマシテハ、言葉ヲ改メレバ氣持モ改マルト云フコトモアリマスカラ、トハイカヌノデヤナイカ、ソコデ一般產業戰士ニ對シマシテモ此ノ恩給法ノ制定ヲシテ、ソコニ官吏、產業戰士ト云フヤウナ區別

ノナイヤウニシテ行キタイト云フスガ、私ノ御尋ネノ趣旨デアリマス、ソレカラ、之ニ關聯シマシテ、最近應召

サレテ居ル人々が非常ニ恩給ノ恩典ニ與ツ

テ居ルコトハ、國家ノ爲メ洵ニ結構ナコト

ト思ツテ居リマスカ、戰地ニ參リマス爲

ニ期間ガ非常ニ短縮サレテ居リマスカラ、

若年者ノ恩給者ガ非常ニ増加致シテ來テ居

ルヤウデアリマス、勿論法文ニ於キマシテ

此ノ若年者ニ對スル所ノ恩給ノ一部停止ノ

規定モアルヤウデアリマスガ、前カラノ御

答辯ニ依ルト、日本デ恩給ヲ貰ツテ居ル一

番ノ若年者ハ二十三歳カ四歳ダ、斯ウ云フ

コトデアリマス、吾々ハ恩給ト云フト何ダ

カ年寄ガ取ツテ居ルヤウナ氣ガシテ居ルノ

ニ、餘リ若イ者ガ恩給ヲ取ツテ居ルト云フ

此ノ氣持ガ、社會ニ及ボス影響ト云フモノ

ハドウダラウカト考ヘルノデアリマス、恩

給ヲ與ヘルコトハ勿論必要デアリマスガ、

其ノ名目ヲ何トカ變ヘテヤルト云フヤウナ

コトハドウダラウカ、斯ウ考ヘマスノデ、

當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○平木政府委員 現在若イ者モ恩給ヲ貰ツ

テ居リマスガ、サウスルト、ドウモ今御話

ガアリマシタヤウニ、何トナク老年振ツタ

ヤウナ、隱居スルヤウナ氣持ガ起ルト云フ

風ニ私モ實ハ觀テ居ルノデアリマス、併シ

ノヤウニ勞務者ナドニ對シマシテハ、言葉ガアルカラサウナルノ

カ、サウ云フ制度ガサウスルノカ、是ハ色

研究シナクテハナラヌト思ヒマス、成程

是ハ恩給ト云フ言葉ガアルカラサウナルノ

カ、サウ云フ制度ガ

ケルコトガ出來ナイノデハナイカ、而モ此ノ人ハ來年マデ生キルカドウカ分ラナイ位ノ、慶應元年十二月生レノ、家内モ持タナケレバ、子供モ持タナイ所ノ老人デアリマス、私ハ偶、之ヲ一例トシテ舉グルノデアリマスケレドモ、是ハ神様デナイ限り、支那事變以來大東亞戰爭ニ亘ツテ非常ニ澤山ノサウ云フ件數ガオアリニナルト思フカラ、誤リモアルト思フガ、斯ウ云フヤウナ陳情、或ハ申込ガアリマシタ時ニ、ドウ云フヤウナ心構ヘデ居ラレルカ、先程ノ局長ノ御答辯ヲ伺ヒマスルト、恩給ハ國家ノ恩典ト云フ風ニモ考ヘルト云フ御言葉ガアリマシタガ、此ノ大事ナ時局ニ國民ノ士氣ヲ昂揚シ、更ニ第一線デ戰死ラシタ兵士ニ引續キ、其ノ弟、或ハ其ノ親戚、其ノ後輩ト云フモノガ如何ニ感奮興起シテ戰線ニ赴クカト云フ、士氣昂揚ノ點カラモ、私ハ極メテ重要ナ問題デアルト思フノデアリマスガ、如何ナル風ニ局長ハ御考ヘニナリマスカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス。

## ○平木政府委員 先程御要求ノアリマシタ

資料デアリマスガ、支那事變以來ノ人員ハ一寸分リ兼ネマスカラ、後デ一緒ニ調ベテ差上ガタイト思ヒマス、恩給受給者、殊ニ支那事變死者ノ遺族ノ許ニ恩給扶助料證書ガ行ツテ居ナイト云フ事實ヲ今御述ベニナリマシタガ、實ハサウ云フ事實ガアリマス、存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

送リ返サレテ來ルヤウナ狀況デアリマスガ、ソレハ居所ヲ極力調べマシテ、又送ルヤウナ手續ヲ實ハ執ツテ居ルノデゴザイマス、只今御述ベニナリマシタノガ、ドウ云フ事情デ着カナカツタカト云フコトハ、是カラ調べナケレバ何トモ申上げ兼ネマスガ、サウ云フ事實ガナイヤウニ極力私共ノ方デハ心掛ケテ居ルコトデアリマスシ、殊ニ先程モ申上げマシタヤウニ、恩給ハ國ノ恩典デアル、貰フ方カラ致シマスレバ、國ノ有難イ恩典ガ貰ヘナイ、遲レルト云フコトハ是ハ非常ニ問題デアル、又生活ノ方カラ言ツテモ、必ズシモ樂デナイ人ガ多イノデアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ洵ニ氣ノ毒ナ次第デアル、其ノ事實ハ能ク調べマシテ、何トカ早ク手ニ入ルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ一般ノ問題ト致シマントモ、サウ云フ事件ガナイヤウニ、出來ルダケ遺族ノ手許ニ行クヤウニ私ハ常ニ心掛けテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支給額票ノ問題ガアリマシタガ、是ハ權利ノ時效規定シテアリマス、是ハ支給額票ダケノ問題デゴザイマスカラ、ソレガナクナリマシテモ、期限ガ切レマシタラ又別ナ支給額票ヲ發行スレバ貴ヘルコトニナツテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスガ、少少遅レマシテモ、恩給額ハ死亡ノ翌日カラ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、左様ストスレバ、私共ト致シマシテハ洵ニ恐縮ニ存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

送リ返サレテ來ルヤウナ狀況デアリマスガ、ソレハ居所ヲ極力調べマシテ、又送ルヤウナ手續ヲ實ハ執ツテ居ルノデゴザイマス、只今御述ベニナリマシタノガ、ドウ云フ事情デ着カナカツタカト云フコトハ、是カラ調べナケレバ何トモ申上げ兼ネマスガ、サウ云フ事實ガナイヤウニ極力私共ノ方デハ心掛ケテ居ルコトデアリマスシ、殊ニ先程モ申上げマシタヤウニ、恩給ハ國ノ恩典デアル、貰フ方カラ致シマスレバ、國ノ有難イ恩典ガ貰ヘナイ、遲レルト云フコトハ是ハ非常ニ問題デアル、又生活ノ方カラ言ツテモ、必ズシモ樂デナイ人ガ多イノデアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ洵ニ氣ノ毒ナ次第デアル、其ノ事實ハ能ク調べマシテ、何トカ早ク手ニ入ルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ一般ノ問題ト致シマントモ、サウ云フ事件ガナイヤウニ、出來ルダケ遺族ノ手許ニ行クヤウニ私ハ常ニ心掛けテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支給額票ノ問題ガアリマシタガ、是ハ權利ノ時效規定シテアリマス、是ハ支給額票ダケノ問題デゴザイマスカラ、ソレガナクナリマシテモ、期限ガ切レマシタラ又別ナ支給額票ヲ發行スレバ貴ヘルコトニナツテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスガ、少少遅レマシテモ、恩給額ハ死亡ノ翌日カラ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、左様ストスレバ、私共ト致シマシテハ洵ニ恐縮ニ存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

○濱田委員 大體御説明デ了承致シマシタ、今ノ支給額票ノ點ハ能ク分リマシタ、唯此ノ院内ニ於テ、私ノ記憶デハ體カ二回ニ亘ツテ請願委員會ガ開カレテ居ルト思ヒマスガ、私ガ之ニ出テ居ル色々ナ問題ヲ拜

見致シマシテモ、郵便局ヲ置イテ吳レトカ、思ヒマス集配郵便局ヲ設置シテ欲シトイ云フ件數ガ非常ニ多イノデアリマス、日本ハコンナ狹い土地デアリマスケレドモ、田舎ニ参リマス、只今御述ベニナリマシタノガ、ドウ云フ事情デ着カナカツタカト云フコトハ、是カラ調べナケレバ何トモ申上げ兼ネマスガ、サウ云フ事實ガナイヤウニ極力私共ノ方デハ心掛ケテ居ルコトデアリマスシ、殊ニ先程モ申上げマシタヤウニ、恩給ハ國ノ恩典デアル、貰フ方カラ致シマスレバ、國ノ有難イ恩典ガ貰ヘナイ、遲レルト云フコトハ是ハ非常ニ問題デアル、又生活ノ方カラ言ツテモ、必ズシモ樂デナイ人ガ多イノデアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ洵ニ氣ノ毒ナ次第デアル、其ノ事實ハ能ク調べマシテ、何トカ早ク手ニ入ルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ一般ノ問題ト致シマントモ、サウ云フ事件ガナイヤウニ、出來ルダケ遺族ノ手許ニ行クヤウニ私ハ常ニ心掛けテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支給額票ノ問題ガアリマシタガ、是ハ權利ノ時效規定シテアリマス、是ハ支給額票ダケノ問題デゴザイマスカラ、ソレガナクナリマシテモ、期限ガ切レマシタラ又別ナ支給額票ヲ發行スレバ貴ヘルコトニナツテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスガ、少少遅レマシテモ、恩給額ハ死亡ノ翌日カラ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、左様ストスレバ、私共ト致シマシテハ洵ニ恐縮ニ存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

○濱田委員 大體御説明デ了承致シマシタ、今ノ支給額票ノ點ハ能ク分リマシタ、唯此ノ院内ニ於テ、私ノ記憶デハ體カ二回ニ亘ツテ請願委員會ガ開カレテ居ルト思ヒマス、只今御述ベニナリマシタノガ、ドウ云フ事情デ着カナカツタカト云フコトハ、是カラ調べナケレバ何トモ申上げ兼ネマスガ、サウ云フ事實ガナイヤウニ極力私共ノ方デハ心掛ケテ居ルコトデアリマスシ、殊ニ先程モ申上げマシタヤウニ、恩給ハ國ノ恩典デアル、貰フ方カラ致シマスレバ、國ノ有難イ恩典ガ貰ヘナイ、遲レルト云フコトハ是ハ非常ニ問題デアル、又生活ノ方カラ言ツテモ、必ズシモ樂デナイ人ガ多イノデアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ洵ニ氣ノ毒ナ次第デアル、其ノ事實ハ能ク調べマシテ、何トカ早ク手ニ入ルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ一般ノ問題ト致シマントモ、サウ云フ事件ガナイヤウニ、出來ルダケ遺族ノ手許ニ行クヤウニ私ハ常ニ心掛けテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支給額票ノ問題ガアリマシタガ、是ハ權利ノ時效規定シテアリマス、是ハ支給額票ダケノ問題デゴザイマスカラ、ソレガナクナリマシテモ、期限ガ切レマシタラ又別ナ支給額票ヲ發行スレバ貴ヘルコトニナツテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスガ、少少遅レマシテモ、恩給額ハ死亡ノ翌日カラ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、左様ストスレバ、私共ト致シマシテハ洵ニ恐縮ニ存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

○濱田委員 大體御説明デ了承致シマシタ、今ノ支給額票ノ點ハ能ク分リマシタ、唯此ノ院内ニ於テ、私ノ記憶デハ體カ二回ニ亘ツテ請願委員會ガ開カレテ居ルト思ヒマス、只今御述ベニナリマシタノガ、ドウ云フ事情デ着カナカツタカト云フコトハ、是カラ調べナケレバ何トモ申上げ兼ネマスガ、サウ云フ事實ガナイヤウニ極力私共ノ方デハ心掛ケテ居ルコトデアリマスシ、殊ニ先程モ申上げマシタヤウニ、恩給ハ國ノ恩典デアル、貰フ方カラ致シマスレバ、國ノ有難イ恩典ガ貰ヘナイ、遲レルト云フコトハ是ハ非常ニ問題デアル、又生活ノ方カラ言ツテモ、必ズシモ樂デナイ人ガ多イノデアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ洵ニ氣ノ毒ナ次第デアル、其ノ事實ハ能ク調べマシテ、何トカ早ク手ニ入ルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ一般ノ問題ト致シマントモ、サウ云フ事件ガナイヤウニ、出來ルダケ遺族ノ手許ニ行クヤウニ私ハ常ニ心掛けテ居ル次第デアリマス、ソレカラ支給額票ノ問題ガアリマシタガ、是ハ權利ノ時效規定シテアリマス、是ハ支給額票ダケノ問題デゴザイマスカラ、ソレガナクナリマシテモ、期限ガ切レマシタラ又別ナ支給額票ヲ發行スレバ貴ヘルコトニナツテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスガ、少少遅レマシテモ、恩給額ハ死亡ノ翌日カラ支給スルコトニナツテ居リマスカラ、左様ストスレバ、私共ト致シマシテハ洵ニ恐縮ニ存ズル次第アリマス、實ハ多數ノコトデハアリマスルシ、一々書留デ送ツテ居リマシテ、大體本人ノ所ニ着クノデゴザイマスルガ、中ニハ本人ノ願書ニ書イテアリマスル所ニ送リマシテモ、ドウシテモ着カナモノガ多少アリマス、何時モ何十件カハ

タト思ツテ居ルガ、ソレガ届カナイデ居ルト  
カ、或ハ郵便局ノ手違ヒデアナタノ方ハ確  
カニ送ツタノガ届カナイデ、兎ニ角本人ノ  
手ニマデ證書ガ渡ツテ居ラヌ、ソレデ後ニ  
來ル證書ガ渡ツタ、ソコデソレヲ持ツテ行  
ツテ郵便局ニ示シタガ、前ノ證書ガナイ爲  
ニ全然恩給ガ貰ヘナイト云フノガ、先程述  
ベマシタ事例デアリマスルガ、サウ云フ場  
合ニハドウナルノデアリマスルカ、極メテ  
簡單ニ事務的ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、  
詰リアナタノ方デハ御送リニナツタガ渡ラ  
ナイ、アトノ書類ハ渡ツテ居ルニモ拘ラ  
ズ、前ノガナイ爲ニ恩給ガ取レナイト云フ  
ヤウナ事例デゴザイマス

○平木政府委員 ソレハ實ハ斯ウ云フ風ニ

ナツテ居ルノデス、今御述ベニナリマシタ

族扶助料ヲ四割増額致シマシタ、其ノ増額

シタ公正證書ガ行ツタノグラウト思ヒマス、

公正證書ガ行キマス以上ハ、元ノ證書ハ私

ノ方カラ發行シタト云フコトガ臺帳ニ載ツ

テ居ル譯デゴザイマス、ソレガ恐ラク何カ

ノ手違ヒデ御手ニ入ツテ居ナイ、斯ウ云フ

風ニ考ヘマス、所ガ公正證書ノ方ハ前ノ證

書ト引換ヘデナイト渡サナイ、斯ウ云フ風

ナ取扱ヒニ致シテ居リマス、是ハ一應サウ

シナケレバ、兩方渡シテ置イテハ困リマス

カラ、是モ仕方ガナイ、ソレデアリマスル

カラ、今御述ベニナリマシタヤウナ事例デ

ゴザイマシタナラバ、公正證書ノ記號番號

ト氏名トヲ書イテ私ノ手許ニ、實ハ前ノ證

書ヲ受取ツテ居ナイガ、ドウ云フ譯ダト云

フコトヲ照會シテ戴ケバ、ソレデ問題ハ簡

單ニ解決スル、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマ

ス

○濱田委員 大體分リマシタガ、今ノ局長

ノ御述ベノ中ニ、引換デナケレバ渡サスト

云フ御言葉ガアリマシタガ、引換デナケレ

バ渡サヌノデヤナイ、現ニ四割増額ニナツ

タ公正證書ヲ受取ツテ居ルノデス、而モ前

ノハ全然受取ツテ居ラヌ、アトカラ來タモ

ノハチヤント受取ツテ居ルノデス、ソレヲ

少シ違ヒマスガ、ドウデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 今度改正致シマスノハ、

普通恩給者デナシニ、内地ノ公務員トシテ

證書ガ來タラ渡スト云フ建前ニナツテ居リ

カラ、議會ノ協贊ヲ經タコトデアルシ、成

テク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸整理ニ因リマス、又滿洲國デ二年

給制度ニ依リマシテ、現在一時金ヲ出スコ

トニナツテ居リマスルカラ其ノ方ヲ出ス、

斯ウ云フ風ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、

唯御承知ノヤウニ今度ノ改正案ニ、其ノ點

ニ付テ滿洲國ノ方ヲ或ル程度通算スルト云

フコトガ、今度ノ規定ニ設ケテアル次第デ

ゴザイマス、併シ今度ノ此ノ改正案ハ、是

ハ今申上ゲマシタヤウナ普通恩給受給者ノ

問題デハアリマセヌ

○濱田委員 普通恩給者ノ事例デナイトス

ルト、ドウ云フモノデスカ

○平木政府委員 ソレハ恩給證書デナク支

給額票ヲ一應渡スノデス、是ハ引換デナシ

ニ、其ノ支給額票ニ基イテ私ノ方デ、處理致

シマス、ナゼ支給額票ヲ出スカト申シマス

ト、公正證書ヲ出スト中々時間ガ掛リマス

シマス、ベク早ク手ニ渡ルヤウニト云フノデ、支給

額票ト云フ小票ヲ渡シマシテ、ソレニ依ツ

テ、一寸

○濱田委員 特ニ本年カラ其ノ改正ヲセラレルト云フノハ、私ハ寧ロ遲キニ失スルト云フ氣持ガアルノデアリマス、ト云フコトハ滿洲事變ガ起ツタノガ昭和六年デアリマス、更ニ支那事變ガ起ツタノガ昭和十二年デ、更ニ最モ大キナ大東亞戰爭ガ一年起ツタ譯デ、日本人ノサウ云フヤウナ公務員或ハ官吏等ガ、強制的ニト申シマスルヨリハ、國家ノ必要上、政府ノ要請ニ依リ、政府ノ半バ命令的ナ要求ニ依リマシテ、現地ニ出テ行ク、滿洲ニ行クト云フ場合ハ今日デハ少イノデハナイカ、寧ロ從來ノ支那事變或ハ滿洲事變ノ直後アタリノ方ガ多イノデアツテ、大東亞戰爭ニナツテハ、私ハ寧ロ豫算委員會等其ノ他ニ於テモ御伺ヒシタノデアリマスルガ、昨年度ノ如キハ、恐ラク我ガ日本ノ各省カラ派遣サレル所ノ高等官、或ハ奏任官、判任官ノ數ハ、一万人約二千五百、判任官ガ七千五百ト云フヤウナ數ニナルノデハナイカト思フノデスガ、ソチラノ方モ必然ニ——今ノ局長ノ御説明ニ依ルト自分ガ進ンデ行キタイト云フノデハナイガ、國家的要請ニ依ツテ行クモノデアルカラ、左様ナ特異ナ例ヲ本年カラ設ケタノダ、斯ウ云フ説明ト受取ツタノデアリレドモ、滿洲ニ對スルサウ云フ新シイ規定ガ出テ來テ居ルト思フ、ソコデ私ハ恩給法ノ改正法ヲ實ハ詳シク讀ンデ居リマセヌケタノダ、斯ウ云フ説明ト受取ツタノデアリマスガ、南方方面ニ於テハ愈、其ノ必要性ヲ今御設ケニナルコトハ、寧ロ逆デアツテ、南方ニ行ク要員ニ對シテ左様ナコトヲシテ、恩給ノ新シイ規定ヲ設ケルト云フヤウナコ

トノ方ガ必要デヤナイカ、例ヘバ佛印ニシテモ、是ハ日本カラ見マスト全然外國デアリマス、ソレカラ支那ニシテモ外國デアリマスガ、サウ云フ點ヲウント重點ヲ置イテ御考ヘニナル必要ガアルノデヤナイカト思フノデスガ、私ハ法文ヲ讀ンデ居リマセヌカラ、サウ云フ規定ガアルカ知リマセヌケレドモ、ドウデアリマスルカ、其ノ邊ヲ御伺ヒ致シマス

○平木政府委員 實ハ私説明ガ少シ拙カツタノデスガ、満洲國ハ例ニ舉ゲタ積リデアリマシテ、満洲國ノ方ノ問題ヲ解決シタト云フ意味デハ實ハナインデアリマス、法文ノ前ノ方ダケ見マスト、「公務員ニシテ本屬廳ノ承認ヲ受ケ外國政府又ハ之ニ準スルモノノ官吏其ノ他ノ職員」トナツテ居リマスノ瀆田委員 ソレデ能ク分リマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○前田委員長 恩給法中改正法律案ニ對シマスル質疑ノ通告者ハ是デ終ツタノデアリマスガ、他ニ質疑ハアリマセヌカ——ナケレバ恩給法中改正法律案ノ質疑ハ是デ終了致シマス

○次ニ東北興業株式會社法中改正法律案ノ質疑ニ入りマス——庄司一郎君

○庄司委員 東北振興ニ關シ、又只今議題トナツテ居リマスル東北興業法中改正法律案ニ關シテ二三ノ質問ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、東北振興計畫ハ御承知ノ如ク國策デゴザイマシテ、東北ノ救濟デアルトカ、或ハ更生デアルトカ云フヤウナ、過去ニ觀念デ東北振興計畫ガ確立サレテ居ルモノデハナイト、私ハ承知シテ居リマス、昭和八九年頃ニ於ケル冷害大凶作等々ノ場合ニ於テハ、或ハ東北ノ更生、或ハ東北ノ

救濟ト云フヤウナ觀念モアツタカト思ヒマスルガ、第一期國策、東北振興五箇年計畫ガ曲リナリニモ終リマシテ、更ニ向フ五箇年間ノ第二期綜合計畫ガ推移シテ居リマスル今日ノ關係ニ於テハ、大東亞ノ一兵站基地トシテノ國策東北振興、東北ノ救濟ニアルトカ、更生デアルトカ云フ從來ノ觀念デハナク、北方ニ「アリューシャン」群島ヲ控ヘ、或ハ「ソ」聯ノ「ウラヂオ」ヲ控ヘ、内地ハ帝都更ニ京濱地方ニ於ケル食糧ノ兵站地トシテ、或ハ鮮魚介、或ハ木炭、燃料、其ノ他野菜、數限リナイ生産物ヲ持ツテ居ル東北ハ、大東亞共榮圈確立ノ爲ニ於テモ、最モ重要性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ第二期ノ東北綜合計畫ト云フモノハ、左様ナ觀念ノ上ニ立ツテ確立サレテ行カナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスルガ、過去ノ第一期ノ東北綜合振興計畫ト云フモノハ、其ノ經費ノ點ニ於テ洵ニ惠マレナイ所ノ經費デアツタコトヘ、シタ場合ニ於ケル東北振興調查會ノ答申ハ、三億二千餘万圓デアリマス、ソレガ廳テ大藏省ノ査定ノ結果一億九千六百餘万圓ニ激減ヲシ、更ニ第三回目ノ愈、昭和十二年度ヨリ實施ニ移サレマシタ場合ニ於ケル實行豫算ハ、御承知ノ如ク昭和十二年度ニ於テ三千七百二十餘万圓ヲ千九百七十九力圓ニ是ガ減ラサレマシタ、昭和十三年度ニ於ケル三十九百九十万圓ガ千二百六十八万圓ニ減ラサレマシタ、昭和十四年度ニ於ケル三千九百三十餘万圓ガ千七百二十四万圓ニ

減ラサレタノデアリマス、以上三箇年間ニ所要シタル所ノ東北振興ノ經費ハ、四千九百七十二万餘圓デアル、昭和十五年、昭和十六年ハ大體昭和十四年程度ノ經費デゴザイマス、第一期過去五箇年間ノ綜合經費ト云フモノハ大體私ノ調査スル所ニ依リマスルト八千二百九十六万圓、即チ當初計畫ノ約四分ノ一、大藏省ガ查定シタル所ノ經費ノ約四割二分ノ激減デアリマス、ソコデ私は御伺ヒ申上げマス、政府ハ東北振興ノ爲ニ内閣總理大臣ヲ會長ニ官制上推戴サレタ所ノ調査會ヲ起サレ、朝野ノ名士或ハ貴衆兩院議員、サウ云フ方々勤員サレテ臨時ノ調査會ヲ持タレテ居リマシテ、其ノ答申書モ先般内閣ノ方ニ提出サレタト云フコトデゴザイマスガ、私ノ御伺ヒ申上げタイ第一點ハ、第二期綜合計畫ニ於テ、向フ五箇年間ニ於ケル所ノ第二期綜合計畫ノ大體ノ全貌如何、産業方面ニ於テ、或ハ林產方面ニ於テ、或ハ水產方面ニ於テ、或ハ農耕地ノ開拓ニ於テ、高原地ノ開發ニ於テ、或ハ厚生衛生上ノ諸問題ニ於テ、如何ニシテ東北ヲ更ニ積極的ニ振興サレ、殖產興業ニ努メ、政府ノ各省ノ御豫算ヲ通シテノ東北ノ開發ト云フモノト、東北興業會社ヲ通シテノ振興計畫ト二元的ニ「タイアップ」サレマシテ、ドウ云フ計畫ノ下ニ第二期綜合計畫ト云フモノノ萬全ヲ期シ、完成ヲ全ウサレントスルノデアルカ、而シテ向フ五箇年間ニ於テ、政府ガ東北ノ特殊事情ニ照サレマシテ支出サレントスル御見込ミデアルカ、又昭和十八年度ニ於テ既ニ豫算ハ本院ヲ通過シテ居リマスルガ、アノ豫算面デハ東北ニ關スル直接ノ諸經費ハ、大體トノ程度ノ經費ヲ支出サレントスル御見込ミデアルカ、

ノ特殊ナル方面ニ用ヒル所ノ經費ガ餘りハ  
ツキリシテ居リマセス、全貌ガ明確デゴザ  
イマセス、ソコデ差當リ昭和十八年度ニ於  
テハ、ドウ云フ東北振興ノ諸計畫ヲ以テ、ド  
ノ程度ノ經費ヲ支辨サレルカ、又向フ五箇  
年度ニ於ケル所ノ御計畫竝ニ其ノ諸經費  
等ノ點ニ於テ、ドウ云フ御計畫デアルカト  
云フコトヲ政府委員ニ御尋ネラ申上ゲマス、  
是ガ質問ノ第一點デアリマス  
○宇都宮政府委員 東北振興ノ現在ニ於ケ  
ル意義ト申シマスカ、方針ト申シマスカ、  
ソレニ付テ御述ベニナリマシタコトハ大體  
其ノ通リデゴザイマス、御話ノ中ニアリマ  
シタ所謂第二期綜合計畫ノ答申ニ當リマシ  
テモ、劈頭ニ於キマシテ東北振興ニ付テハ、  
大東亞戰爭下ニ於テ國家ノ總力ヲ發揮スル  
ノヲ目標トスル、斯ウ云フ風ニ致シテ居リ  
マス、細部ニ亘ツテ色々決メマシテ、其ノ  
内容ニ付キマシテハ既ニ發表モ致シテ居リ  
マス所デアリマスカラ御存ジノ通りカト思  
ヒマスガ、人的物的方面ニ於テ、東北地方  
ノ持ツテ居ル凡ユル力ヲ發揮スル、サウシ  
テ大東亞戰爭完遂ニ資ストル云フ方面ニ力  
ヲ入レル、但シ項目ハ、澤山アリマス中デ重  
點的ニ六ツバカリ取上げマシテ、ソレニ付  
テソレト、經費ノ概算ノ計上ノ出來ルモノ  
ハ、全部掲ゲテ居ルノデアリマス、一番初  
メニ東北振興精神ノ作興ト云フコトヲ述べ、  
及ビ工業ノ建設、ソレカラ五番目トシテ開  
發立地條件ノ整備、第六番目トシマシテ、  
次ニ食糧ノ增產、其ノ次ニ資源ノ開發利用  
ソレト、活動スル場面ガ相當アリマスノデ、  
東北興業會社ノ機能ノ強化ヲ圖ルト云フ、叶

ノ六ツノ項目ニ付キマシテ研究致シマシタ、サウシテ中ニ直グニ經費ヲ計上出來ナイ關係ノモノモアリマスノデ、其ノ方ハ除キマシテ、經費ノ概算ノ計上出來ルモノヲ集計致シマスト、昭和十八年度カラ昭和二十二年度マデ、五箇年間ニ要リマス經費ハ約五億三千万圓デゴザイマス、是ニハ鐵道省關係ノ經費ガ脱ケテ居リマスノデ、ソレヲ見込ミマシテ大體私ノ肚積リガ、先づ五箇年間六億ト云フ風ナ見當ダト思ヒマス、此ノ答申案ハ調査會デ昨年六月末ニ可決ニナリマシテ、七月一日ニ政府ニ答申シテ、政府ニ於キマシテハ七月十日ノ閣議ニ於キマシテ、此ノ答申ノ趣旨ニ基イテ、時局ノ各般ノ事情ニ鑑ミテ、此ノ趣旨ノ實現ニ努メルヤウニト云フ風ナ閣議ノ決定モゴザイマシタ、ソレニ基キマシテ、或ヘ之ニ關聯シテ、各相ニ於キマシテハソレゝ計畫ヲ立て、豫算ノ要求スルモノハ要求ヲシ、或ヘ法律案トシテ出シマスモノハ法律案トシテ出スコトニ達成致シマシタ、只今上程ニナツテ居リマス備致シマシタ、東北興業會社ノ機能ノ強化ト云フモノハ、其ノ答申ノ趣旨ニ基イテ立案セラレマシテ、サウシテ法案トシテ出テ居ルモノデゴザイマシテ、是ハ殆ド答申其ノ儘ガ此處ニ盛ラレテ居ルト思ヒマス、併シ各省ノ豫算關係ノ問題ニナリマスト、中々サウ云フ譯ニハ参リマセヌ、此ノ計畫ハ、只今申シマシタヤウニ、昨年ノ六月末ニ答申ニナリマシテ、之ニ付テハ各省ノ關係ノ人ノ意見ヲ聽イテ決メタモノデアリマスガ、其ノ後事情ガ變ツタリ或ハ計畫ガ變リマシテ、要求ニナリマシタモノハ必ズシモ此ノ通りデベアリマセヌ、相當變ツタモノニナリマシタ、ソコデ御尋ネノ十八年度豫算ニハドウ云フ風

ニ計上シアルトカ、特殊ナモノハ一向分テ、是ハ洵ニ御尤モナコトト思フノデアリマスガ、豫算ノ計上トシマシテハ、在來通りニ東北振興ト云フ銘ヲ々打タナイコトニナツテ居リマス爲ニ、御分リニクイコトト考ヘマス、私ノ方デモ實ハ豫算ヲ見タダケデハ分リマセヌ、ソレデ各省へ聽合ヘセマシテ、一部返事ノ來タモノモアリマスガ、何シロ各省ニ於キマシテモ一々是ハ東北振興ノモノハ是へ然ラザルモノト云フ風ニ、分ケテ吳レマスノニ相當時間ガ掛リマシテ、只今各省カラソレニ付テノ十分ナル資料ガ參ツテ居リマセヌ、併シナガラソレダケデハ相濟マヌ譯デアリマスノデ、私ノ方ノ手デソレドノ方面ニ付テ調ベタ概數ヲ申上ゲマス、是ハ各省ガ正式ニ回答シタモノデハナイノデアリマスカラ、只今ノ趣旨デ概數ヲ申上ゲマスカラ、ソレニテ今ノ所御願承ヲ願フコトニシタイト考ヘマス、昭和十八年度ノ計畫豫算、詰リ東北振興計畫ニ載ツテ居リマス豫算ハ、鐵道省ノ分ヲ除キマシテ約一億二千二百万圓、ソレニ對シテ豫算ノ計上ハ各省ノ分ヲ全部合ハセマシテ一億三千七百万圓、差引致シマシテ、計畫ヨリ豫算計上額ガ一千四百万圓程殖エテ居リマス、是デ見マスト大變成績ガ良イヤウデアリマシテ、事實又サウ云フ場面モアルノデアリマスガ、此ノ調べマシタ額ハ極ク概算デゴザイマシテ、此ノ計畫ノ項目ニ其ノ儘ビツタリト欲マルモノト、越旨ガ同ジデアルト云フ意味デ關係經費ト吾々名前ヲ付ケテ居リマスガ、其ノモノモ一緒ニ舍メテ居リマスノデ、ソレド含メルト今ノヤウナ狀況ニナリマス、果シテ此ノ申デ東北振興ダケノ爲ニ

豫算額デスト、大體最後ノ案ニ對シテ四割八分ノ實現振リデアリマシタガ、其ノ後情勢ガ變ツテ、色々ナ計畫ニ關係アル經費ヲ計上致シマスト、大體八割四分近イ實現振リニナツテ居リマス、併シ尙ホ計畫ニハ及バナイノデアリマスガ、今回ノ分ハ先程申シマシタヤウニ關係經費ヲ入レマシテモ相當殖エテ居リマスカラ、東北振興ト云フ趣旨ノ相當濃ク入ツテ居ルモノヲ入レマシテモ、今回ハ成績ガ相當良イノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ政府委員ノ御答辯デ大體了承致シマシタ、非常ニ御健闘下サイマシタコトニ對シマシテ敬意ヲ表スル次第デアリマス、只今御計畫ノ第二項ニ、東北ノ人口問題ニ關スル御意見ガゴザイマシタガ、洵ニ東北ニ取ツテ相應シイ問題デゴザイマス、此ノ人口問題ニ關シテ一言簡單ナ御質問ヲ申上ゲテ其ノ結果ニ對スル所ノ對策ニ關シテ御意見ヲ承リタイ、東北地方ハ極メテ人口マバラデゴザイマス、御承知ノ通り一「キロ」平方メニ於ケル人口ガ、關東地方ハ五百二十三名、近畿地方ハ三百八十九名、斯様ナ人口ノ密度ニ對シテ、東北地方ハ岩手ノ七十二、秋田ノ九十、福島ノ百十六、山形ノ百二十、宮城ノ百七十五、青森ノ百四、全國平均一「キロ」百九十九名ニ對シテ、東北六縣ノ平均ハ百八名デアリマス、人口ノ密度ガ非常ニマバラナ關係ニナツテ居ルト云フコトハ何ヲ意味スルカト云フト、山嶽地帶ガ多クシテ、耕地或ハ平坦地ガ比較的

少イト云フヤウナコトモ意味サレテ居リマス、併シナガラ人口ノ増殖、政府ガ施ヲ大ニシテ稱ヘラレテ居ル生メヨ殖ヤセヨト云フヤウナ人口政策ノ上カラ見ル時ニ於テ、東北位赤ン坊ノ殖エル、人口ノ殖エル所ノ地域ハナイ、御承知ノ通り人口一千ニ付テ全國ノ生メヨ殖ヤセヨノ方ハ一四・八五デ加デアリマシテ、淘ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイコトデアリマス、又東北ノ頑健ナル肉體、心身共ニ素朴ニシテ剛健ナル所ノ東北人ノ人口ノ増加ト云フモノハ、國家ノ爲ニ淘ニ慶賀ニ堪ヘナイコトデアリマスルガ、其ノ反面ニ於テ多年水害、災害、凶作等ニ苛マレテ參リマシタ結果、即チ經濟的ノ關係ニ於テ、或ハ衛生、厚生上ノ施設ニ於テ缺クル點ガ多カツタ爲デゴザイマセウ、乳幼兒ノ死亡率ニ關シマシテハ「ブロック」的ニ申上ゲルナラバ全國第一デアル、是ハ淘ニ變フベキ現象デアリマス、即チ全國的ニ見マシテ、死亡者一千名中ニ於テ乳幼兒ノ死亡者ハ三四八・六五デアリマス、然ルニ東北地方ハ非常ニ乳幼兒ノ死亡率ガ多イ、例ヘバ岩手縣ニ於テハ四百六十五名、青森縣ニ於テハ五百二十九名、秋田縣ニ於テハ四百四十三名、他ノ東北三縣モ大體同様ノ位置デアリマシテ、大體生レタ赤ン坊ノ半分ガ、國民學校ニ入學スル七歳マデノ間ニ於テ死亡シテ居ル、是ハ非常ニ憂慮スベキ問題デアリマスノデ、此ノ根本的ナ對策ヲ立テラレテ政府ノ御善處ヲ願ハナケレバナリマセヌ、私ハ参考資料トシテ、東北ニ於ケル無醫村ノ數如何ト云フコトヲ求メテ居ツタノデアリマスガ、殆ド無醫村ガ多イ、大體オ

約五倍位アルト云フ風ニ見テ居リマスガ、無醫村ガ、  
折角生レタ所ノ大和民族ノ第二ノ國民ガ、  
國民學校ノ義務教育ニ就學スル前ニ約其ノ  
半分ガ死亡シテ居ルコトハ、洵ニ由々シイ  
國家ノ重大問題デアリマス、仍テ政府ニ於  
カレテハ保健所、或ハ衛生上ノ指導員看  
護婦トカラウ云フ設備ヲナサレ、或ハ住宅  
ノ改善デアルトカ色々御計畫ガアルヤウ  
デアリマスガ、東北地方ノ無醫村等ニ對ス  
ル根本的ナ對策ヲ確立シテ戴イテ、此ノ乳  
幼兒ノ死亡率ト云フモノヲ挽回シ、百「パー  
セント」健民健兵ヲ養成シテ行カナケレ  
バナラナイ、是ハ單ニ一東北ノ問題ダケデ  
ナク重大ナル國家問題デアリマス、ソレニ  
加ヘテ最近肉體的ニ極メテ剛健デアツタ東  
北ノ青少年ガ、徵用令其ノ他デ徵サレテ、  
軍需工業其ノ他ノ殷賑產業カラ歸ツテ參リ、  
或ハ石炭ノ坑道カラ歸ツテ來ル者ガ胸ヲ痛  
メテ歸ツテ參リマシテ、ソレガ從來結核病  
ナド殆ド皆無ト云ツテ宜シカツタ他ノ東北  
人、全農村ニ傳播スル、私其ノ詳シイ統計ヲ  
ガ最近ニ於テハ十二名出シテ居リマシテ、  
ノ昭和十一年程度ニ於テ、私ノ町ニ於テハ  
結核死亡者ハ一箇年五名シカナカツタ、所  
ガ今持ツテ居リマセヌケレドモ、日支事變前  
ノ昭和十一年程度ニ於テ、私ノ町ニ於テハ  
假定スレバ由々シイ問題デアリマス、私ハ  
此ノ結核對策ノ問題、乳幼兒ノ斯様ナ慨數  
ニ堪ヘナイヤウナ死亡率ノ改善、ソレニ加  
ヘテ最近赤ン坊ガ「デフテリア」ニ罹ル、是ハ  
獨リ東北大ケデハゴザイマセヌケレドモ、  
特ニ氣候ノ寒冷ナル東北ニ於テハ、惡性ノ  
感冒ノ爲ニ乳幼兒ノ「デフテリア」患者ガ相當  
数エテ居ル、然ルニ「デフテリア」患者ヲ全治

スル爲ノ血清ノ「ワクチン」ガナイ、是ハ全國ノ傾向カモ知レマセヌガ、東北地方ハドノ薬店、オ醫者ニ行ツテモ適當ナル藥品ガアリマセヌ、生メヨ戴ヤセヨノ聲ニ應ジテ生産力ハ多イケレドモ此ノ「デフテリア」ニ罹ツタラ最後、此ノ注射藥ノナイ爲ニ赤シ坊ハ漸次死亡シテ居ル、私ノ附近ノ町、村等ニ於テハ、此ノ病ニ罹ツタ子供ハ悉ク死亡シテ居ル、是ハ痛切ナル問題デアリマス、斯様ナ問題ニ對シテ眞剣ナ對策ヲ立テ戴イテ、速カニ適當ナル御善處ヲ戴キタイ、之ニ對シテ若シ御計畫ナリ御意見ガアリマシタナラバ、簡單デモ宜シウゴザイマスカラ御拜聽シタイト思ヒマス

シテ、東北地方ニ於テ尙ホ非常ニ増加率ガ多ウゴザイマス、是デ若シ死亡率ヲ改善致シマスレバ、我ガ國ノ人口増殖ニ寄與スル所ハ洵ニ多大ナルモノガアラウト考ヘテ居リマス、既ニ御承知ト思ヒマスガ、東北更新會ト云フモノガゴザイマシテ、規模ハ小サウゴザイマスガ、乳幼兒、妊娠婦ノ保護、住宅ノ改善、榮養改善ト云フヤウナ方面ニ付キマシテ、微力デハアリマスガ、非常ニ堅實ナ、他ノ模範トナルヤウナ行キ方デ改善シテ居リマシテ、成績ハ相當見ルベキモノガゴザイマス、其ノ仕事ハ東北六縣デモ非常ニ喜バレテ、ドウカアノ仕事ヲ大キクシテ吳レト云ハレト方面ニ付テ一段ト力ヲ入れル係デサウ參リマセヌ、幸ヒニ今回ノ豫算ニ於キマシテハ政府ノ助成ガ更ニ加ハリマシテ、サウ云フ方面ニ付テ一段ト力ヲ入れルコトニナリマシタコトハ洵ニ結構ナコトダグト考ヘテ居リマス、無醫村對策、ソレカラ藥ノ問題、是ハ厚生省ノ方カラ御話ニナツタ方ガ宜イト思ヒマス、尙ホ他カラ病氣ニナツテ歸ルモノガ多イ、是ハ東北トシマシテハ非常ニ重大ナ問題ナノデアリマス、在來東北ハ御承知ノ通リ結核ニ付テハ非常ニ綺麗ナ土地デアツタノデアリマスガ、最近エマシタ、在來綺麗ナ土地デアツタダケ、其ノ傳染力ハ強イノデアリマス、此ノ點ハ今非常ニ憂慮セラレテ居リマス、之ニ對シツテ、胸ヲ惡クシテ歸ツテ來ル者ガ大分殖マシテ東北振興計畫ニ於キマシテモ、常ニスト勞力ヲ非常ニ需要致シマス際ニ於キマ

シテ、東北ノ元氣ナ者ヲドンヽ所要ノ産業ニ向ケテ行クト云フコトハ必要ナノデアリマス、其ノ爲ニ或ル程度ノ弊害ガ生ジテ來ルノモ、是亦現下ニ於テ已ムヲ得ナイコト存ジマスガ、ソレニ對シテハ又對策ヲ講ジナケレバナラナト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ厚生省方面トモ十分能ク連絡ヲ取ツテ行キタイト思ヒマス

○庄司委員 燃料國策ノ觀點カラ相當燃料ヲ増産確保シナケレバナラヌコトハ、改メテ申上ゲルマデモナインデアリマス、只今本議會ニ現ハレテ居ル燃料ニ關スル論議ヲ見マシテモ、或ハ石炭、或ハ木炭、或ハ代用燃料ト呼バレテ居ル所ノ煉炭、榛炭等ニ關スル質疑ハ、可ナリ繰返ヘサレテ居ルヤウデゴザイマスルガ、私ノ遺憾ニ考ヘテ居ル所ハ、新興燃料デアル所ノ亞炭ニ關シテハ政府ノ御意見ノ發表モナケレバ、マダ今日マデ質問モナイ、ソコデ私ハ新興燃料トシテノ亞炭ニ關シテ政府ノ御所信ヲ問ヒタインデアリマス、御承知ノ如ク亞炭ト云フモノハ從來多年是ガ等閑視サレテ居ツタモノデアリマシテ、亞炭トハ一體何ダイトイ云ファウナ調子デアツタ、山村、農村ニ於テ僅カニ自己家庭ノ燃料ニスペク、山カラ掘ツテ來タト云ファウナ傾向ガ多カツタノデアリマス、石炭ニ關シテハ今回モ三百七十五万圓カノ新坑開發ノ助成金ヲ計上サレ、向フ三箇年間ニ五百万「トン」ノ增産計畫ガ講闘スル限りハ認メラレテ居ナカツタノデアリマス、石炭ニ關シテハ最近石炭ハ最近石炭ノ代用ト言ウテハ妙ナ言葉デスケレドモ、從來石炭ヲゼラレテ居ルヤウデ、是ハ洵ニ結構デアリマス、然ルニ此ノ亞炭ハ最近石炭ノ代用ト言ウテハマシタ所ノ諸工場等ニ於テ、消費シテ居リマシタ所ノ諸工場等ニ於テ、

石炭ノ配給ガ足リマセヌ爲ニ亞炭ヲ用ヒテ居ル、私日本全國ノ亞炭ノ總生産量ハ正確ナ所ハ承知シテ居リマセヌケレドモ、大體前年度ニ於アハ百万「トン」近イモノデアルト承知シテ居リマス、然ルニ東北地方ハ全日本生産額ト云フモノハ、淘ニ素晴ラシイ大増産デアリマス、ソコデ政府ハ石炭、木炭或ハ代用燃料等ニ關シテハ相當力瘤ヲ入レラレテ居ルヤウデアリマスガ、亞炭ノ生産、増産確保竝ニ其ノ配給等ニ依ツテ、石炭ノ足ラザル所ヲ補フ意味ニ於テ、如何ナル御對策ヲ持タレテ居ルカト云フ點ガ御伺ヒノ第一點、第二點ハ東北地方ニ於ケル所ノ當磐炭田地方ヲ除イテ、石炭ヲ生産シテ居ナシ所ニ亞炭ガ生産サレテ居ル、淘ニ日本ハ有難イ神様ノ國デアリマシテ、特ニ東北地方ニ於テ、私ハ昭和十七年度ニ於テハ少クナトモ約八十万「トン」ノ亞炭ノ生産ガ出來テ居ルト私ハ確信シテ居リマス、此ノ亞炭ニ對シテ政府特ニ商工省燃料局關係等ニ於テハ、ドウモ私ノ見ル所、一向御力ヲ藉サレテ居ラナイヤウデアリマス、若シソレ相當ナル御力ヲ藉サレマシテ、或ハ山カラ「ステーション」マヂ運ブ所ノ小運送關係ニ於ケル「トラック」ノ配給、或ハ坑木、或ハ「カーバイド」、或ハ「カントラ」、或ハ地下足袋等々ノ亞炭ヲ採掘スル上ニ於テ、ナクテナラナイ所ノ資材等ノ配給ガ、石炭掘ノ一割デモアリマシテ、ナラバ、石炭ニ十ノ力ヲ藉ス場合ニ於テ、亞炭ニ一ツノ力ヲ藉サレタナラバ、亞炭ノ増産ハ素晴ラシイモノデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ハ如何ナル御所見デゴザイマスカ、特ニ東北地方ハ木炭ヲ

ドン／＼六大都市、或ハ京濱地方ニ供出  
ナケレバナラナイ、煉炭、棒炭ニ於テモ  
様デアル、此ノ亞炭ト云フ新興燃料ヲ相當  
政府ガ息ヲ掛ケラレテ増産ヲサセ、此ノ  
炭ニ依ツテ石炭ノ足ラナイ所ヲ、或ル程度  
マデ補給スルコトガ出來得ルト、私ハ左壁  
ニ考ヘテ居リマスガ、政府ノ御所見ハ如右  
デゴザイマスカ、第一ハ全國的ノ關係、第  
二ハ亞炭ノ特產地トシテノ東北地方ノ指進  
開發ノ關係ニ於ケル所ノ御所見ニ付テ、其  
シ政府ノ御意見ヲ承ルコトガ出來ルナラ  
ン幸甚デアリマス

ル 要スルニ重要消費地ト近イト云ノコトニ  
ト、簡単ニ掘レルト云フニツノ良イ點ヲ持  
ツテ居ル譯デアリマス、私共ト致シマシテ  
タガ、亞炭ハ中々無視出来ナイモノデアル  
ト思ツテ居リマンタ、御参考マデニ一寸亞  
炭ノ歴史ニ付テ申上げマスト、明治二十九  
年ノ榎本農商務大臣ノ時分カラ問題ニナツ  
テ居リマシテ、三十三年ノ鑛業條例ニ亞炭  
モ追加サレテ鑛物ニ入ツタノデアリマシテ、  
吾々ト致シマシテモ決シテ亞炭ヲ無視シテ  
居ル譯テハゴザイマセヌ、昭和四年乃至五  
六年ノ石炭埋藏量ノ調査ノ時ニモ、亞炭ノ  
埋藏量ト云フモノヲ能ク調査致シマシテ、  
全國約二十五バカラノ亞炭ノ炭田ニ付テ埋  
藏量ヲ調査シタコトガゴザイマスガ、之ニ  
付テハ水準五百尺以上、千尺以上ノ所ニ各、  
ドレ位アルカト云フコトモソレゝ分ケ  
テ調べテ居リマス、併シナガラ、殘念ナガ  
ラ——此ノ全國的ノ數字ヲ申上げテ宜イカ  
惡イカ分リマセヌガ、石炭ノ生産地ガ大體  
今八百位アリマス中、亞炭ノ生産地ガ五、  
六百デス、是ハ恐ラク常識ヲ以テ判断シ得ナ  
イ程度多イ、所ガ大體ハ其ノ出ル物ガ非常  
ニ惡イ譯デス、「カロリー」ガ低イト申シマ  
スカ、ソコデ輸送ニ非常ニ今力ヲ借リネバ  
ナラヌ時ニ、惡イ亞炭ヲ何デモ彼デモ出ス  
ト云フ譯ニハ中々行カナイ、貨車ト雖モサウ  
十分ハ戴ケナイノデアリマス、ソコデ出來  
ル限リ良イ亞炭ヲ出シテ貰フ、マア名古屋  
ノ直ガ傍ニ出ルナラバ、少シハ惡クテモ宣  
イト云フ方針デ、生産地ト消費地トヲ睨合  
セテ——實ハ自分ノコトヲ申スト甚ダ恐縮

話ニナリマスト、先づ第一ニ當時ノ燃料長官ニ、亞炭ヲ燃料局ノ主管ニシタ方ガ宜イト言ツテ、當時私金山、鑛山ノ方ラオ世話ヲ致シテ居リマシタガ、之ヲ直チニ燃料局ノ方ノ主管ニ致シマシタ、サリトテ全國六百乃至七百ノ亞炭屋サンノ中ニハ、失禮デスガ雨ト降ルト坑内デ亞炭ヲ掘ル、又今日ノヤウナ天氣デスト、今丁度麥踏ミ時分デスカラ、麥ヲ踏ンデ居ル、行ツテ見テ、或ル亞炭屋サンハ何處デスト云フト、此處デス、持主ハ私デスト言ツテ、持主ガ麦ヲ踏ンデ居ルト云フノガ非常ニ多イノデアリマシテ、所謂企畫性ガ乏シイ、物動ニ入レテ云フ御希望ガ現ハレテ居リマスガ生産ガ中々期待出来ナイ、昨今ハ今ノ御質問以上ニ非常ニ出テ居ル、勿論東北ハ内地生産ノ今五割以上出テ居ル、全國殆ド昨年ニ較ベマスト驚クベキ程出テ居リマス、是ハ非常ニ良イコトデアリマス、是石炭ノ補ヒト申シマスガ、是ハ立派ナ燃料デゴザイマシテ、補ヒト云フ言葉ヲ使ヒタクナイ程度々立派ナ役目ヲ務メテ居リマス、是ガ燃料局ノ主管ニナリマシテカラ、先般亞炭鑛業聯合會ト云フモノガ出來マシテ、之ヲ出來ル限り育成シテ居リマス、之ニ全國ノ亞炭ヲオ世話サセテ居ル、ソコデ資材ナルカモ知レナイ、ソコデ物動ハ別ト致シマシテ、現在ノ法規ノ運用ナリ内規トカ云ハ申シマセヌガ、又物動ニ入レテモ災害トカ何カ一方ニ變動デモアリマスト又出ナクドニ付キマシテモ正式ニ物動トカ云フコトハヤウナコトヲ弛ヤカニ見ルト云フヤウナ程度デ、出來ル限り良イ亞炭ニハ資材モ差上ゲルヤウニシテ居リマス、實ハ數日前「ゴム」足袋ノ配給ニ付キマシテモ、立派ナ亞

炭山ニハドン／＼ヤルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス、唯小サイ亞炭山デハ、炭礦ノ勞務者用ニ行クベキモノガドン／＼亞炭ノ方へ取ラレルヤウナコトモアル、是ハ甚ダ殘念デス、是ハ鑛山監督局竝ニ各縣、今ノ聯合會ト云フヤウナモノト十分連絡致シマシテ、石炭ノ生産ニモ影響ガナク、亞炭モ立派ナモノヲドン／＼出シタイト云フ氣持デ指導シテ居リマス、尙ホ東北ノコトニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタガ、東北ハ全國ノ五割以上ノ生産ヲ持ツテ參リマシタケレドモ、實ハ十五年度ニ比ベマシテ十六年度ハ三倍近イ、十七年度ニ於キマスルト尙ホソレノ倍以上、十五年度ニ較ベマスルト五六倍以上ノ生産ガ出來テ居ル、是ハ出来ル限り東北方面デ使ツテ戴ク、ソレカラ一部ハ東京方面ヘ流シテ行ク、東京デモ二昨年十六年ハ年ニ三万「トン」位入ツタト思ヒマスケレドモ、昨今八月ニ二万「トン」以上入ツテ居リマス、是ハ今朝ノ東日ニモ實ニ能ク御書キ下スツテ居ルヤウデスガ、東京ノ風呂屋ト云フ風ナ方面ニ相當御役ニ立ツテ居ル、ソコデ實ハ東北ノ問題デゴザイマスルガ、數年前ニ東北振興ト云ファノ問題ガ起リマシタ時ニモ、私ハ亞炭ニ付テ宮城縣、山形縣アタリニハ立派ナモノガアルノデアルカラ、アア云フモノヲ現地デ使ツテ戴キ、尙ホアレヲ原料ト致シマシテ低溫乾溜或ハ「コーライト」ト云フヤウナモノ造ル産業ヲ興サシタラドウカト云フコトヲ當時ノ上司ノ方ヘモ、當時吉野サンガ次官デアリマシタガ、進言致シタコトモゴザイマスノデ、決シテ亞炭ヲ無視シテドウト云フヤウナ氣持ハゴザイマセヌ、唯「カロリー」ガ東京ヘ來ルノハ少クトモ三千乃至三干五百以上ノ

モノヲ育成シテ行ク、掘ツテ直グ其處ノ盤  
油屋ニ行ク、酒屋ニ行ク、或ハ製絲工場ニ  
行クト云フノガ非常ニ澤山アル、是ハ鐵道  
ノ貨車ニ依ラナイデ、荷馬車、牛車デ運ブ  
ト云フヤウナモノナラバ、多少惡イノデモ、ド  
ンドン育成シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ今  
考ヘテ居リマス

○庄司委員 大變適切チ御答辯ヲ戴イテ有  
難ウゴザイマシタ、能ク諒解致シマシタ  
次ニ今一點ダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマ  
ス、東北興業會社ノ總裁竝ニ副總裁ハ、本  
社ナラザル、即チ東京支社ニノミ在勤ヲサ  
レテ居リマシテ、東北七百万ノ六縣縣民諸君  
トハ済ニ縁ガ遠イノデアリマス、過般前仙  
臺師團長タリシ現代議士高木義人君ハ、自  
分ガ師團長ヲ拜命ヲシテ東北興業會社ニ挨  
拶ニ行ツタ場合、總裁モ居ナケレバ、副總  
裁モ居ナイ、ドウシタノデアルカト聽イタ  
所ガ、支社ノ方ニ居ラレル、東京ニ居ラレ  
ルト云フノデ、自分ハ驚イタ云フコトヲ  
私ニ語ラレテ居ラムシタ、色々事情モア  
リ、又御答辯ノ理窟モアリマセウケレドモ、  
只今總理大臣ヲ初メ各大臣、各高等官が陣  
頭指揮ノ時代デアル、此ノ時代ニ於テ總裁、  
副總裁トモ東京ニ居ラレテ、如何ナル政治  
工作ヲサレテ居ルカ分リマセヌケレドモ、  
大切ナ東北開發ソレ自身ノ東北ノ環境ノ中  
ニ其ノ身ヲ置カナイト云フコトハ、甚ダ以  
テ其ノ意ヲ得ナイノデアリマス、又斯ウ云  
フコトヲ政府ガ公ニ御許シニナツテ居ルノ  
デアルカ、或ハ默認サレテ居ルノデアルカ  
分リマセヌガ、農村ノ地主ノ問題デ言ヒマ  
シテモ、不在地主ト云フモノガ居リマシテ、  
不在地主ノ持ツテ居ル耕地ハ兎角荒レテ居

鮮總督ハ朝鮮ニ居ラナケレバナラナイ、臺灣總督ハ臺灣ニ居ラレテ直接指導誘掖ナレルコトガ相應シイノデアリマス、滿鐵ノ總裁ハ願ハクハ満洲ニヨリ多ク日時ノ點ニ於テ居ラレルコトガ望マシイノデアリマス、一體ドウ云フ譯デ東北興業會社ノ總裁或ハ副總裁ト云フヤウナ最高幹部ガ、開發シナケレバナラナイ、日常苦樂ヲ共ニシテ、雨ニツゲ雪ニツケテ、東北ノ實情ヲ察知シテ居ナケレバナラナイ其ノ東北ニ在勤ヲサレナインデ、在京サレテ居ルノデアルカ、色々理窟ハゴザイマセウ、色々理窟ヲ付ケテ御答辯ナサル理由ハアリマセウケレドモ、現實ノ問題トシテ總裁竝ニ副總裁等ノ最高首腦部ガ本社ニ居ラレテ、東北ハ六縣デアリマスルカラ、毎月一回位各縣ヲ、今日ハ山形縣、今日ハ秋田縣ト云フヤウナ日程デモ作ラレテ、常ニ東北六縣ノ殖產興業或ハ鑛產、水產、其ノ他左様ナ關係ノ諸君ト會合ヲサレ懇談ヲサレデ、而シテ善處サレル所ガアルナラバ、東北振興ノ目的達成ノ爲ニハ、或ハ國策ノ遂行ノ上ニ於テ、洵ニ相應シイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今ノヤウナ狀態ハ洵ニ望マシカラヌ實情デアル、是等ニ對スル所ノ政府ノ御所見ハ如何ト云フ質問ガ第一點、第二點ハ東北興業會社ノ社員——社ノ內容ノ制度ハ分リマセヌガ、私ノ言フ社員ハ東北興業會社ニ働イテ居ラレル所ノ高級社員、或ハ從業員一切ヲ合ハセマシテ社員ノ數ハ現在何人デアルカ、其ノ給與サレル所ノ俸給、人件費等ハ一ヶ年ニスル所ノ質問ハ更ニ今一點ダケゴザイマスル如何、年末賞與如何、斯様ナ點ニ付テ御尋ねヲ申上ゲテ置キマス、東北興業會社ニ對

ガ、此ノ二點ノ問題ニ付テ直接東北興業會社ヲ指道監督サレテ居ル東北局長ノ御答辯

ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 東北興業會社ノ本店ハ

仙臺ニアリナガラ總裁副總裁ガ東京ニ居ル、

ソレデハ萬事不都合デナイカト云フ御話デ

ゴザイマス、御話ノヤウニ現在東京支社ニ

總裁以下幹部ガ殆ド大部分居リマス、仙臺ニハ留守役位ノ者シカ置イテナイ、是ハド

ウ云フ譯カト申シマスト、現在ノヤウナ狀況ニ於キマシテ各種ノ事業ヲ致シマス際ニ、

他ノ事業ノ幹部ノ人ト連絡ヲ取ツタリ、或

ハ資材資金等ニ付テ、關係ノ官廳其ノ他ノ

方面ト連絡ヲ取ツタリ致シマスルコトガ非

常ニ殖エテ、減リマスコトハナクテ、手數ハ

一層殖エテ参リマス、ソレハ手紙ヤ電話デ

ハ中々行キマセヌノデ、直接面ト會ツテ話

ヲスル場合ガ非常ニ多イノデアリマス、總

裁副總裁ナドモ、私ハ始終會社ニモ參リマ

スガ、會議トカ或ハ面會デ多忙ヲ極メテ居リ

マス、斯ウ云フ風ニ致シマセヌト、實際ハ各

種ノ仕事ヲヤツテ行クコトガ困難ナ實情デ

アリマス、其ノ爲ニ東京支店ニ居ル方ガ宜

シテ東北ノ人ト共ニ仕事ヲヤルト云フ點ニ

付テハ、御話ノ通り仙臺ニ居ル方ガ宜イノ

デアリマスケレドモ、片方ニ於キマシテ只

今申シマシタヤウナ事情ガアリマス爲ニ、

ナツテ居ルノデアリマス

ソレカラ社員ノ數、之ニ對スル人件費ノ總額、或ハ其ノ他幹部ノ俸給賞與ト云フヤウ

ナ御尋ねデアリマス、是ハ中ニハ其ノ儘御返

事出來兼ヌルモノモアルカト考ヘマスガ、  
兎ニ角能ク考ヘマシテ資料ヲ御手許ニ差上  
ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○庄司委員 總裁、副總裁ガ在京サレル理

由ヲ今承リマシタガ、ソレハ將來トモ在京

スル必要ガアルノカ、當人ダケデアルノカ、

面會等モ多イト云フ御話デアリマスガ、ソレ

ハ東京ニ居ラレルカラ、態、面會ニ來ラレル

ノデアリマス、地方ニ居ラレバ、地方ニ於

テ面會ヲサレルノデアリマス、ドウモ甚

ダ其ノ理由ガ薄弱デアルト思フノデアリマ

ス、今回ノヤウニ二千万圓ノ増資問題ノ諒

解ヲ政府ニ求メル爲ニ、總裁トカ副總裁ガ

解會社ヤ今ハ合併セラレマシタガ、東北振

興電力會社ト云フ特殊ノ會社ヲ設立シテ、

政府ガ特段ノ施設ヲ東北ニ講ジナケレバナ

ラナイト云フヤウナ事由ヲ生ズルニ至リマ

シタノハ、勿論東北ニ於ケル色々ノ事情ニ

モ依ルノデアリマスガ、第一ニ國家ノ民生

ニ對スル施設、教育、文化、產業、交通、

一般ノ政府ノ施設ガ、東北ニハ薄カツタト

云フコトガ最モ大キカツタ、斯ウ思ハレル

ノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ政府當局

ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、御所見ノ一

端ヲ伺ヒマス

○宇都宮政府委員 東北地方ニ對シテ文政

ニ關スル施設ガ少ナカツタ云フ御話デアリ

マスガ、是ハ私モ全ク左様ニ考ヘマス、其

ノ理由ハ色々タコトダト考ヘマスガ、

昨年ノ春調査ノ結果答申致シタ調査會ノ答

申ノ中デモ、東北地方ニ於テ色々ナ文化的

施設、教育方面衛生方面ノ施設ヲスルト云

フ項目ヲ取上げテ居リマス、文政上、非常

ニ廣ク言ヒマシテ衛生方面トシマスト、先

程モ申上げマシタガ、相當今回ハ實現出來

キマシテハ相當努力ヲ致シマシタケレドモ

遺憾ナガラ十八年度ニ於テハ見ルベキモノ

ガナイト云フヤウナ結果ニナツテ居リマス

要ナ施設ノ後レヲ取り返スト云フコトニ努

メ東京ニ現在幹部ガ居ルト云フヤウナ情勢ニ

シテ、狀況ヲ直グ變ヘルト云フコトハ困

難デハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

リマシタガマダ來ラレマセヌカ

○前田委員長 大臣ハ出席アリマセヌ

○庄司委員 内務大臣ニ關スル私ノ質疑ハ

後ニ保留サセテ戴キマシテ、一應本日ハ之

ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○前田委員長 暫時休憩致シマシテ午後ハ

一時半ヨリ再開致シマス  
午後零時十三分休憩

○前田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ

マス——小野寺有一君

○小野寺委員 東北局ヲ設置シタリ東北興

業會社ヤ今ハ合併セラレマシタガ、東北振

興電力會社ト云フ特殊ノ會社ヲ設立シテ、

政府ガ特段ノ施設ヲ東北ニ講ジナケレバナ

ラナイト云フヤウナ事由ヲ生ズルニ至リマ

シタノハ、勿論東北ニ於ケル色々ノ事情ニ

モ依ルノデアリマスガ、第一ニ國家ノ民生

ニ對スル施設、教育、文化、產業、交通、

一般ノ政府ノ施設ガ、東北ニハ薄カツタト

云フコトガ最モ大キカツタ、斯ウ思ハレル

ノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ政府當局

ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、御所見ノ一

端ヲ伺ヒマス

○宇都宮政府委員 東北地方ニ對シテ文政

ニ關スル施設ガ少ナカツタ云フ御話デアリ

マスガ、是ハ私モ全ク左様ニ考ヘマス、其

ノ理由ハ色々タコトダト考ヘマスガ、

昨年ノ春調査ノ結果答申致シタ調査會ノ答

申ノ中デモ、東北地方ニ於テ色々ナ文化的

施設、教育方面衛生方面ノ施設ヲスルト云

フ項目ヲ取上げテ居リマス、文政上、非常

ニ廣ク言ヒマシテ衛生方面トシマスト、先

程モ申上げマシタガ、相當今回ハ實現出來

キマシテハ相當努力ヲ致シマシタケレドモ

遺憾ナガラ十八年度ニ於テハ見ルベキモノ

ガナイト云フヤウナ結果ニナツテ居リマス

要ナ施設ノ後レヲ取り返スト云フコトニ努

メ東京ニ現在幹部ガ居ルト云フヤウナ情勢ニ

シテ、狀況ヲ直グ變ヘルト云フコトハ困

難デハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

リマシタガマダ來ラレマセヌカ

○前田委員長 大臣ハ出席アリマセヌ

○庄司委員 内務大臣ニ關スル私ノ質疑ハ

後ニ保留サセテ戴キマシテ、一應本日ハ之

ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○前田委員長 暫時休憩致シマシテ午後ハ

力シテ居ラレルノデアリマスガ、此ノ後レヲ取返スニハ何トシテモ東北局ノ使命ト云フモノハ極メテ重大デアル、斯ウ思ヒマシテ、私ハ東北局當局者ガ非常ニ此ノ點ニ力ヲ注ガレテ居ルコトニ付キマシテ感謝ヲ捧ゲル者デアリマスガ、茲ニ特ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、此ノ東北局ノ御勤キハ、是ハ今日議案ニナツテ居リマス所ノ東北興業會社、此ノ指導監督ト云フヤウナコトモアリマセウガ、更ニ私ハ政府ノ行フ所ノ施策ヲ東北ニ誘致シテ施設セシムルト云フコトガ一番大キイ、斯ウ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ東北興業會社ガヤツテ居ル分散小企業ト云ヒマセウカ、是ナドモ勿論東北振興ニ興シテ居ル所ノ力ガナイトハ言ヘマセヌガ、是ヨリモモツト大キナモノハ國ノ施策其ノモノヲ東北ニ強ク動カスコトデアルト私ハ考ヘル、サウ云フ點カラシマシテ、東北局ガ東北ノ現狀ニ鑑ミマシテ、政府ノ肝要ナル大民生施策ト云ヒマセウカ、政府ノ力ヲ強ク地方興隆ノ爲ニ致ス所ノ事業ニ對シテ、ソレヲ東北ニ誘致スベク努力セラレテ居ル所ノ事項ノ大キナモノ、及ビ其ノ盡力セラレタ所ノ經過ノ梗概ヲ承知致シタイ、斯ウ思フノデアリマス、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御答辯ヲ願ヒタイ

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北局ノ

仕事ト致シマシテハ、東北興業ノ指導監督バカリデナシニ、國ノ施設ヲ東北地方ニ十分

ニ致シマシテ、文化、經濟方面ニ於ケル發達ヲ圖ルト云フコトノ必要ナノハ勿論デア

リマス、只今申上ゲマシタヤウニ教育、衛

生方面ニ於テモ、出來ルダケサウ云フ風ニ

考ヘテヤツテ居ルノデアリマスガ、甚ダ遺憾ナガラ十分ノ所ヘ參リマセス、最近ニ於

ケル諸事業ノ誘致ニハドウ云フモノガアル  
カト云フ御尋ネデゴザイマスガ、例ヘベ鐵道、道路、港灣ト云フ風ナ交通問題ニ例ヲ  
取ツテ見マスルト、是ハ御承知ノヤウニソ  
レゾレ主管省ノ仕事ニ屬シテ居ルノデアリ  
マスガ、東北ト致シマシテハ斯ウ云フ特殊  
事情ニアル爲ニ外ノ地方ニ對スル考ヘ方  
ト違ツタ目デ東北地方ヲ見テ、開發ト云フ  
方面ニ力ヲ入レテ行カウデヤナイカト云フ  
コトデ始終話シテ居ルノデアリマス、其ノ  
結果今年ノ豫算ニ上リマシタ所ヲ見マシテ  
モ、港灣關係ニ於テ相當東北地方ノ希望ノ  
滿タサレタモノガゴザイマス、又鐵道方面  
ニ於キマシテモ調査會デ考ヘテ居リマシタ  
金額ヨリハ、更ニ大キイ金額ガ十八年度ニ計  
上サレテ居リマス、内容ノ詳シイコトハ申  
上ゲ兼ネマスガ、鐵道ノ如キハ本年ノ金額  
ヨリモ更ニ大キイ金額ガ出テ居リマス、ソ  
レカラ商工省ノ方ニ於キマシテモ鑛山開發  
方面ニ付テハ始終連絡ヲ取ツテ居リマシテ、  
仙臺ノ監督局長ナドニ致シマシテモ、現下  
ノ情勢上東北ニ於ケル資源ノ開發、同時ニ  
東北振興ニナルト云フコトヲ始終頭ニ入レ  
テヤツテ吳レテ居リマス、ソレカラ色々ナ  
會社、工場ヲ東北ニ誘致シマスコトハ、直  
接私ノ方デハ一寸手ガ及ビマセヌノデ、東  
北興業會社ヲシテサウ云フ方面ト連絡ヲ取  
ツテ、最近ニ於キマシテハ、軍需關係ノ仕  
事ヲ致シマス工場ガ相當有力ニ向フヘ誘致  
セラレ、或ハ擴張セラレテ居ルヤウナ狀況  
デアリマス、併シサウハ申上ゲマシテモ、  
決シテ是デ十分ダトハ申上ゲテ居ルノデハ  
ゴザイマセヌ、更ニ一層是カラ努力シテ行  
キタイト云フ考ヘデアリマス

○小野寺委員 御説明ニ依ツテ色々御骨折  
施設ノ整備、或ハ自動車運輸ノ強化、斯  
ノ次第が分リマシタ、各般ノコトニ付テ御  
骨ヲ折ツテ戴カナケレバナラヌノデアリマ  
スガ、殊ニ東北ノ開發上一番大事ニ考ヘラ  
レモノハ交通ノ問題デアリマス、鐵道、  
道路、港灣等交通ノ不便ト云フモノハ東北  
事ナ所デアルト云フヤウナ考ヘラ以テ是マデ  
努力ヲナサレタ點ニ付テ、必ズシモソレガ  
希望通り行ツテ居ラヌデモ宜シイノデアリ  
マスガ、ドンナ進ミ方ヲシテ居ルカト云フ  
重要ナ諸點ヲ考ヘテ、ソレガドウナツテ居  
ルカト云フコトヲ此ノ際御伺シタイ  
○宇都宮政府委員 東北地方ハ交通問題カ  
ラ致シマスト、内地ノ中デハ發達シテ居ナ  
イ所ニ屬スルコトハ御話ノ通りゴザイマ  
ス、地形ノ關係カラ致シマシテ鐵道ニ致シ  
マシテモ複線ガナク、勾配モ急ナ所ガアリ  
マシテ、道路ニ付テ見マシテモ鋪裝シテア  
ル方面ガ少イ、改修モ十分デナイト云フヤ  
ウナコトモ考ヘラレ、ソレカラ港灣ニ付  
ヒシタノデアリマス、若シサウ云フ點ニ付  
ルカト云フコトヲ此ノ際承ツテ  
置キタイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 御尤モナ御尋ネト思フ  
ノデアリマスガ、ソレハ實ハ申上ゲニクイ  
ノデゴザイマス、ト云フノハ私ノ方ヘハ  
東北六縣カラソレト御希望ガアリマシテ、  
皆聽イテ居リマス、ソレヲ私ノ方デ全部其  
ノ儘御取次ヲシタノデハ、此取次シナイン  
ト同ジコトニナリマスカラ、實ハ私ノ方デ  
當ツテ居ルカドウカ、當ツテ居ナイ點モア  
ルカモ知レマセヌケレドモ、重點的ニ捉ヘ  
テ今年ハ此處ト此處ト行カウト云フ風ニヤ  
ルノデアリマス、サウシマセヌト、ドレモ  
是レモデハ實現ハ難シイノデアリマシテ、ソ  
レハ何處ヲヤツタカト云フコトハ實ハ縣ノ  
方ニモ言ハナイデヤツテ居リマス、何處ニ  
力ヲ入レタカト云フコトハ申上ゲ兼ネマス  
ノデ、其ノ點ハ一つ御諒承願ヒタイト思ヒ  
マス

○宇都宮政府委員 釜石鑛山竝ニ其ノ製鍊  
所ノ我ガ國ニ於ケル重要サト云フコトハ十  
分私モ存ジテ居リマス、サウシテソレニ對  
リグラウト思ヒマス、此ノ點ニ對シテ東北  
局ハ御盡力ニナツタカドウカト云フコトヲ  
居ル現下ノ狀況デアリマス、是ハ特ニ御分  
産地、及鐵鋼ノ生産事業地デアル釜石市ニ  
緊切度ヲ痛感シテ參ツタノデアリマガ、日  
本ノ國ノ内ニ唯一箇所シカナイ鐵鑛石ノ生  
產地、及鐵鋼ノ生産事業地デアル釜石市ニ  
對シテ、未ダ釜石線鐵道ノ敷設サレテ居ラ  
ス爲ニ、輸送上非常ナ困難ナ立場ニ立ツテ  
居ル現下ノ狀況デアリマス、是ハ特ニ御分  
力ヲ入レタカト云フコトハ申上ゲ兼ネマス  
ノデ、其ノ點ハ一つ御諒承願ヒタイト思ヒ  
マス

○小野寺委員 東北局長サンノ御説明デア  
リマスガ、國家ノ政務ヲ與ル上ニ於テ、事  
案ヲ選ンデ決定スルマデハ是ハ祕密ニシナ  
タ以上ハ、遠慮ナク堂々ト公表スベキモノデ  
シタ計畫ヨリモ、相當多額ノモノガ十八年  
度ニ實施セラレル狀況ニナツテ居リマス、鐵  
道ト港灣ニ付テハ、東北地方ハ十八年度ニ  
於テハ、從來ヨリモ一層重キヲ置イテ考ヘ  
ラレテ居ルト云フコトハ申上ゲルコトガ出  
来ルト思ヒマス

ヲシタト云フ風ナコトハ一切申上ガラレナ  
イ、寧ロ縁ノ下ノ力持ヲスルヤウナ積リデ  
居リマス、其ノ點ガ一ツ御諒承願ヒタイト  
思ヒマス

○小野寺委員 ソコデモウ一ツ御伺ヒ致シ  
マス、釜石鐵山竝ニ釜石製鐵所ノ重要性ト  
云フモノハ、政府委員ニ於テモ特ニ認メラレ  
テ居ルノデアリマス、其ノ詳細ニ至ツテハ  
私モ一寸申上ゲルコトヲ時局下憚リマスガ  
現在國內ニテ鐵鑛石ヲ生産スル所ハ、僅カモ  
ナモノハ無論各地ニアリマスガ、大キナモ  
ノトイテハ釜石鑛山以外ニナイ、斯ウ云フ  
點カラシテ鐵道ノ問題ガ只今必要デアル、更  
ニ港灣ノ問題ヘ如何デアルカ、釜石港ノ修  
築ト云フ問題モ地方多年ノ聲デアリ、又政  
府ニ於テモ或ル部面ニ於テヘ肝要デアルト  
タ時代モアルノデアリマス、東北局ハ釜石  
港ニ對シテ如何ナル所見ヲ持ツテ居ラレル  
カ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○宇都宮政府委員 釜石ノ港ノ現状ハ私モ  
二度バカリ參リマシテ能ク存ジテ居リマス、  
ソレカラ市ノ當局者ノ方カラモ能ク伺ツテ  
居ルノデ、決シテアレデ十分ダトハ思ハナ  
イノデアリマス、其ノ感想ニ基キマシテ、關  
係ノ省ト話シタコトモゴザイマスガ、遺憾  
ナガラマダ改修ノ實現ノ日ガ何時ニナルカ  
分ラナイ状況デアリマス

○小野寺委員 港灣修築ニ付テ東北局ノ現  
状ニ對スル御判断ハ極メテ心許ナイヤウニ  
思ハレテナラヌノデアリマス、私ハ曩ニ釜  
石鐵道ノ時ニ申上ゲタト同ジヤウナ意味ブ、  
此ノ港灣ニ對シテ申上ゲナケレバナラヌコ  
トガアルト考ヘテ居リマス、是ハ萬御推察  
アルコトト存ジマスガ、此ノ港灣ヲ利用シ

ニ水陸連絡ノ適正ナル狀態ヲ作り上方行  
カナケレバ、アノ釜石ガ持ツ一鐵道ノ問題  
ノ處理ニ對シテモ少カラズ面倒ヲ見ルノデ  
アリマス、私ハ此ノコトニ付テ政府ハ、殊  
ニ時局下最モ肝要ナル施設ノ重要ナモノト  
シテ、此ノコトニ當ラレルコトガ必要デハ  
ナイカ、斯ウ思ハレルノデアリマス、更ニ  
進ンデ御伺ヒ申上ゲタイコトヘ、三陸一帶デ  
アリマスガ、殊ニ釜石ヲ中心トシテ周期的  
ニ津浪ト云フアノ慘害ヲ逞ウスル波浪ガ襲來  
スルノデアリマス、是ハ古イ時代カラズツ  
ト記録ヲ辿ツテモ、三十年、五十年、七十  
年ト云フ年所ヲ經ルト大キナ津浪ガヤツ  
テ來ル、サウンシテ非常ナ慘害ヲ被ラセルノ  
デアリマス、明治以降ニ於キマシテモ、明  
治二十九年ニ大襲來ガアリマシテ、三陸一  
帶ニ二万何千人ト云フ溺歿者ヲ生ジ、沿岸  
一帶ノ資材ヲ蕩盡シ、釜石ノ如キハ其ノ當時  
人口僅ニ六千バカリデアツクノデアリマス  
ガ、其ノ中四千數百ト云フ三分ノ一以上ノ  
溺歿者ヲ生ジタヤウナ事態ガアツクノデア  
リマス、更ニ昭和八年ノ三月又津浪ノ襲來  
ヲ三陸沿岸一帶ガ受ケタノデアリマス、其ノ  
災害ヲ受ケマシテ以來、津浪ノ襲來ヲ防止ス  
ルト云フコトハ出來ナイガ、津浪襲來ニ因  
ツテ被ル所ノ被害ダケハ之ヲ防止シヨウト  
云フ所カラ、國家ニ於テモ地方ニ於テモ力  
ヲソコニ注イデ參ツタノデアリマス、ガ併  
シ其ノコトガ思フヤウニ參ラズ、何時モ被  
殆ドナイト言ツテモ宜イヤウナ實情ナノデ  
アリマス、斯ノ如キ狀態ニ放置スルト云フ  
コトハ——私ハ國寶トモ言フベキ釜石ノ鐵  
釜石ノ地ヲ津浪ノ襲來ニ因リ慘害ヲ逞ウ

ルコード出来ルヤウナ狀態ニ放置シテ置クト  
云フコトハ遺憾ナコトデアル、私ハ國策ノ上力  
ヲ此ノ點ヲ非常ニ考ヘサセラレルモノガア  
ルノデアリマス、勿論時局下色々ノ資材關  
係モアリマセウケレドモ、此ノコトハヤハ  
リ東北局ニテモ重要ナコトト考ヘテ、此ノ  
コトニ當ラレルコトガ必要ダラウト思フノ  
デアリマス、東北ニモ各地ニ重要ナ地方ガ  
アルノデアリマスガ、彼ノ日清戰爭ニ於テ  
釜石ノ鐵ガ極メテ重大ナ貢獻ヲ致シタ、  
勿論他カラ鐵ハ入ツタノデアリマスガ、先  
づ國內生産ハ釜石礦山一ツデアル、アノ鐵  
ノ製鍊ニ依ツテ日本國家ノ力ト云フモノハ  
非常ニ強クナツタ、日露戰爭亦然リ、今度  
ノ戰役ニ於テモ御承知ノ通リノ次第ナノデ  
アリマス、詳細ナコトハ商工省ナリ、軍部  
デ能クオ分リノコトト思ヒマスガ、サウ  
云フ重要ナ地點ガ津波ノ暴虐ナ慘害ヲ受  
ケル、其ノ津波ノ襲來ニ依リ受クル被害ノ  
防止ヲナサズ、從來ノ儘放任シテ置クト云  
フコトハ甚ダ嘆ハシイト考ヘテ居ルノデア  
リマス、サウ云フ點ニ付テ、東北當局ニ於  
テハ如何ナル御考ヘデアラレルカ、又是マ  
デドウ云フ御處置ヲナシ、又將來ドウ云フ風  
ニスル御考ヘデアルカ、其ノ點ヲ一ツ承リ  
タイ

○小野寺委員 津波ノ被害防止ニ關スル御所見ヲ承リマシタガ、更ニ御話ノヤウニ、ソレハ極メテ重要ナ地區ヲ守ルコトニナルノデアリマス、更ニ一段ノ力ヲ致スヤウ御願スル、私ハ一釜石ノ津波ノ問題バカリデハアリマセヌ、更ニ諸般ノ災害防止ト云フ點ニ付テモ東北局ハ慎重ニ御考慮願ヒ、諸計畫ヲシテ戴キタイ、東北ニヘ冷害其ノ他色色ノ災害ガアル、是等ノ點ハ東北局設置ノ際ニモ豫期シタノデアリマスルシ、常ニ是等ノ點ヲ御考慮ノ上大キナ効キヲナサツテ、東北ノ持ツテ居ル重要な効キヲ十分ヤラスヤウニシテ行ク、ドウゾサウ云フ意味デ今後ノ御盡力ヲ願ヒタイ

更ニ只今御話ノアリマシタ交通問題ニ付テ自動車ノ計畫ト云フ御話ガアリマシタ、交通不便ハ東北ノ重大問題デアリ、從來東北不振ノ原因ハ交通ノ關係カラデアツタ、政府ハ此ノ陸運強化ノ關係カラ、鐵道ノ建設ハ肝要デアルガ、資材ノ上カラ鐵道ノ建設ヲ俄カニヤルコトガ出來ナイト云フ地區ハ多分ニアルコトデアリマセウ、斯カル地區ニ對シテハソレヲ補フ爲ニ自動車ノ運營ヲ大規模ニヤルト云フ計畫ヲ立テラレテ居ルト聞イテ居ルガ、此ノ際必要ナ、肝要ナ所ニハ國營ノ自動車ヲ運行スルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、從來交通不便ノ爲ニ色々ト開發ニ支障ヲ見テ居ツタ此ノヤウナ東北ニヘ特ニ陸運強化ノ爲ニ、鐵道省來ルダケ努力シテ行キタイト考ヘテ居リマス

ガ計画ナ、テ居ル所ノ自動車交通ノ恩典、計畫ヲ立てテ、東北ノ持ツテ居ル一切ヲ生カシ、時局ニ緊要ナ資材ノ生産ニ貢獻スルコトノ出來ルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、特ニ此ノ際東北ニ自動車運營ヲ周密ニヤラレルヤウニシテ行カナケレバナラス、東北全體振興ノ爲メ、又東北ノ持ツテ居ル力ヲ時局ノ上ニ寄與サセル上ニ於テ、此ノ事ハ極メテ肝要ダト思フノデアリマス、東北局ノ指導監督下ニアル所ノ東北興業會社ノ仕事モソレデアル、此ノ自動車經營ヲ通ジテ東北ハ俄然面目ヲ一新スルヤイカト思ハレルノデアリマス、當局ハ其ノコトニ付テ如何ナル御所見ヲ持ツテ居ラレマスカ、御伺ヒ致シタイ

○小野寺委員　自動車ヲ以テ東北ノ運輸交  
通ノ不備ナル點ヲ補フト云フ計画ヲ持ツテ  
進ンデ居ラレルト云フ御趣旨ハ、洵ニ有難  
ク存ジマスガ、實際東北興業會社ノ此ノ度  
ノ増資モヤハリサウ云フヤウナ働キガナケ  
レバ、全キヲ期スル譯ニハ行カヌグラウト  
思ハレマスノデ、私ハ特ニ此ノ點ニ付テ御  
尋ネラ申上ゲタ譯ニアリマス、ソレカラ先  
程庄司委員カラノ質問ニ對シ東北興業會社  
ノ總裁、副總裁等ノ重役一切ガ東京支社ニ  
詰メテ居ル、サウシテ本當ノ留守番ダケガ  
東北ノ仙臺本社ニ居ルト云フヤウナ情勢ニ  
置クコトハ已ムヲ得ナイト云フ先程ノ政  
府委員ノ答辯アリマシタガ、私ハ是ハ會  
社經營ト云フヨリモ、東北地方ノ人心ニ甚  
ダ惡影響ヲ與ヘ、思想上ニモ面白クナイ影  
響ヲ持ツモノト考ヘラレルノデアリマス、  
大小ヲ問ハズ會社事業上悉ク重役ガ先頭ニ  
起ツテ、陣頭指揮ヲヤル、其ノ效果ノ如何  
ハ兎モ角トシテ、アノ心榮エバカリモ心強  
ナヲ増ス一ツト數ヘラレルノデアリマス、  
東北振興ハ、アノ會社ノ出來ル時ハ各產業  
ノ萎靡沈滯、更ニ人心ノ萎靡沈滯、或ハ懶  
惰ナ東北人ナドトマデ言ハレタノデアリマ  
ス、實際大惠薄キ關係カラ、東北ハ斯クノ  
如キ狀態ニナツテ東北興業ノ會社ガ出來タ  
方ト致シマシテモ貨物自動車運輸ヲ出來ル  
ダケ強化シテ、事業ノ遂行ニ當ルヤウニシ  
タイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、此ノヤ  
リ方ニ付キマシテハ、御趣旨ノヤウナ積リ  
デ、私等モ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマ  
ス

リマス、東北振興ノ政策が行ハレテ來タノデアリ、東北ニ薄カツタ云フ此ノ點ヨリ、東北ヲ此ノ儘ニシテ置ケヌト云フ勢ヒヲ作り上ゲタノデアリマス、當時ノ批判ハ必ズシモ當レリトハ言ヘマセヌガ、東北ノ者ハ懶惰デアル、ドウモ精ノ出シ方ガ足ラナイト云フヤウナ聲モアツタノデアリマス、併シ實察ハソンナコトデハナイ、東北ハアノ薄キ天惠ヲ享ケテ居ツテ、ソレヲ征服スベク先祖代々熱血ヲ注イデ參ツテ居ル、東北ノ實情ハ現在モ然リデアリマス、決戰態勢下他ノ諸會社、諸工場ハ重役ガ先ニ立ツテ陣頭指揮ヲスルト云フ場合ニ於テ、東京ハ東北ノ仙臺ニ比べテ氣候モ穩カデアリマス、東北各地ヲ言フト中々寒イ所モアルノデアリマス、東京ハ此ノ頃梅モ咲イテ居リマスケレドモ、東北ニハ今雪ガ盛ニ降ツテ居ル所モアル、生活ニハ安易デナイ所デアル、其處ニ住居シテ居ル者カラ見ルト、實際コチラニ重要ナ仕事ガアツテ手ガ放サレナイ實情ニアルカモ知レヌ、ドウシテモ東京ニ居テ成就シナケレバナラヌ所ノ實情ニアルカモ知レマセヌケレドモ、此ノ寒風吹荒ブ中ニ居ル東北人ハ、東北興業ノ總裁ノ様子ヲ見ロ、他ノ人ハ陣頭指揮ヲヤツテ居ルデヤナイカ、東北ノ振興ニ任ズベキ東北興業會社ノアノ重役ハドウダ、斯ウ考へ合ハサナイデハ居ラヌト思フ、私ハ今ノ總裁付テハ、常ニ敬意ヲ拂ツテ居ルモノデアリテ居ラレルト云フコト、又アノ東北ニ思ヒヤリヲ注ガレルコトノ極メテ深イコトニアルト云フコトヲ常ニ感ジテ居ルノデアリ

マス、先程ノ政府委員ノ御答辯ノヤウナ點ハ特ニ御考慮下サイマシテ、東北局ハ更ニアノ會社ノ監督方面ヲ通ジテ時局ニ副フヤウ、東北人ヲシテ更ニ一段ノ奮起ヲサセルヤウナ立場ニ、アノ會社ノ重役ガ立ツテ下サルコトヲ切望スルノデアリマス、サウ云フ點カラ地方デハ色々ノ聲ガアル、其ノ聲ノ一ツトシテ、東北ニ骨ヲ埋メル覺悟ノ東北人ノ經營デナケレバ駄目ダ、東北ノ特殊環境ヲ認メテ東北興業會社ヲ作リ、或ハ東北振興電力會社ヲ作ツタ、此ノ特殊ナ地方、特殊環境ヲ本當ニ見、其ノ様子ヲスツカリ會得シタ所ノ人デナケレバ、中々東北ノ人心ノ機微ヲ捉ヘルコトハ出來ナイト、云フヤウナ聲ガアルノデアリマス、實際人情風俗餘程趣キヲ異ニシテ居ル所ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ環境ニアル人心ノ機微ヲ捉ヘルト云フ、コトハ、ヤハリ東北ニ生ヒ立ツテ居ル者デナケレバ中々イカヌノデハナイカ、斯ウ云フ聲モアルノデアリマシテ、私ハ流言途說デハアルガ、東北ノ者ノ中ニサウ云フ聲ヲ放ツノヲ聞イテ居ル、ソレヲ今思ヒ出シテ一言茲ニ附加ヘタ次第デアリマスガ、色々東北振興ノ爲ニ當局ノ御盡力、更ニ東北興業會社ノ指導監督ノ御骨折ヲ拜察致シマスガ、此ノ度増資ヲサレルニ付キマシテモ、更ニ一段ト此ノ會社ノ勵キヲ増サレルト共ニ、東北局トシテノ使命ヲ達成サレル爲ニ御盡力賜ハリタイ、私ハ是ダケ申上ゲマシテ質問ヲ打切りマス。

トデアリマスガ、其ノ爲ニ東北興業ノ片腕ト申シマスカ、「ベタ一・ハーフ」ト申シマスカ、振興電力ト云フ其ノ連合ヒヲ失ツタ譯ナノデアリマス、之ニ對シテハ政府當局モ十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フ御言明モアツタノデアリマスガ、只今ノ所ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

電力株式會社ハ東北興業ノ片腕トシマシテ創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地方ニ安イ電力ヲ十分ニ供給シ、又電源開發ニ付テモ出來ルダケ考ヘル、又東北ニ於ケル日發ノ支店是ニハ他ノ支店ヨリモ廣イ權限ヲ與ヘ、サウシテ相當力ヲ揮ハセテノ北振興ノ使命ニ當ラセル、或ハ日發ト東北興業ノ役員ガソレト仕事ノ内容ニ、お互ヒニ觸レ合フヤウニ致シタイ、又役所關係

ト致シマシテハ、只今ノ電氣局ト東北局ガ色々ナ問題ニ付テ相談ラシ、或ハ委員ニナリ、ソレカラ東北カラ出ラレテ居リマス有十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フ御言明モアツタノデアリマスガ、ソレト約束ノ書面ヲ取交ハシテ、十分遺憾ナイヤウニシタ積リデアリマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地方ニ安イ電力ヲ十分ニ供給シ、又電源開發ニ付テモ出來ルダケ考ヘル、又東北ニ於ケル日發ノ支店是ニハ他ノ支店ヨリモ廣イ權限ヲ與ヘ、サウシテ相當力ヲ揮ハセテノ北振興ノ使命ニ當ラセル、或ハ日發ト東北興業ノ役員ガソレト仕事ノ内容ニ、お互ヒニ觸レ合フヤウニ致シタイ、又役所關係

ト致シマシテハ、只今ノ電氣局ト東北局ガ色々ナ問題ニ付テ相談ラシ、或ハ委員ニナリ、ソレカラ東北カラ出ラレテ居リマス有十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フ御言明モアツタノデアリマスガ、ソレト約束ノ書面ヲ取交ハシテ、十分遺憾ナイヤウニシタ積リデアリマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地

多々アラウト思ヒマスカラ、政府ニ於テモ此ノ上トモ十分ナ御監督ヲ御願ヒシタインリ、ソレカラ東北カラ出ラレテ居リマス有十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フコトヲ聞キマシテ、好イ鹽梅ダトソレト約束ノ書面ヲ取交ハシテ、十分遺憾ナイヤウニシタ積リデアリマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地

御話ノヤウニ外ノ會社並ニ或ハ半額政府出資ト云フコトニナツタカト私モ思ヒマス、色々ナ問題ニ付テ相談ラシ、或ハ委員ニナリ、ソレカラ東北カラ出ラレテ居リマス有十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フ御言明モアツタノデアリマスガ、ソレト約束ノ書面ヲ取交ハシテ、十分遺憾ナイヤウニシタ積リデアリマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地

多々アラウト思ヒマスカラ、政府ニ於テモ此ノ上トモ十分ナ御監督ヲ御願ヒシタインリ、ソレカラ東北カラ出ラレテ居リマス有十分ナ善後策ヲ講ジ、補強ノ方法ヲ執ラレルト云フコトヲ聞キマシテ、好イ鹽梅ダトソレト約束ノ書面ヲ取交ハシテ、十分遺憾ナイヤウニシタ積リデアリマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ東北振興

創立セラレマシタ、此ノ二ツノ會社ハ寧ロ一ツノモノデアルト考ヘテ、ソレト命ノ達成ニ努メテ參リマシタ、サウシテ成績ト致シマシテハ、東北振興電力ハ相當立派ナ成績ヲ擧ゲテ來タコトハ御承知ノ通リデアリマス、所ガ電力國策ノ赴ク所ニ從ツテ、之ヲ日本發送電會社ニ、十六年十二月一日ヲ以テ合併致サセタノデアリマスガ、其ノ場合ニ御話ノヤウナ點ハ最モ懸念ヲ致シタ所デゴザイマシテ、東北興業ガ仕事ヲスル場合、或ハ東北ノ色々工場ガ仕事ヲスル場合ニ、電力ヲ成ルベク自由ニ、サウシテ安ク手ニ入レルヤウニシヨウト云フ在來ノ方針ガ變ツテ來テハ困ルト云フノガ、一番心配シタ點デゴザイマス、ソレデ當時發表ニモナツテ居リマシタガ、閣議ニ於キマシテ日本發送電會社ガ、東北振興電力ノ持ツテ居ル使命ヲ全面的ニ繼承スル、隨テ東北地

○高橋(壽)委員 兎ニ角政府ノ保證ニ依ツテ配當ガ六分ニ上リマシタカラ、資金ノ融通等モ樂ニナリマシタノデ、以前ノヤウナ騒ギハナイグラウト思ヒマスケレドモ、ソレニシテモヤハリ東北ノヤウナ所デ一千万圓ノ増資ニ對スル拂込ト云フモノハ、多少是ハウルサイ問題、手數ガ掛ルノデハナイカト思ヒマス、ドウモ是ハ簡單明瞭ニ政府ガ二千万圓ソツクリ御出シニナツタ方ガ宜クハナカツタカト云フヤウナ感ジガヤハリ致スノデアリマス、ソレカラ政府ノ配當補償金デアリマスガ、是モ政府委員ノ仰シヤル通り、ハシリノ國策會社デ非常ニ歩ガ惡カツタガ、今度ヤツト人並ニナツタ、斯ウ云フコトナノデアリマシテ、當時ノ情勢已ムヲ得ナイト致シマシテモ、東北ノ爲ニハ洵ニ有難カラヌ次第デアツタノデアリマス、ケレドモヤツトコンナコトデ、曲リナリニモ政府ノ出資モアリ、配當補償金モ附イタノデアリマスルカラ、是カラ一段ト會社モ活動ニ便利グラウト思ヒマス、此ノ點ハ政府當局ノ御措置ニ對シテ吾々ハ御禮ヲ申上ゲナケレバナラナイノデアリマス、唯是カラノ東北地方ハ戰時ノ要請ニ應ズル爲ニハ相當赤字増產ノ建前デ行カナケレバナラナイト思ヒマス、一體今日マデ東北ガ開ケナカツタト云フコトニハ諸種ノ原因ガアリマシテ、所謂天ノ時地ノ利、甚ダ至ラス點ガアツタノデアリマス、ソレガドウヤラ幾ラカヅツ片付イテ參ツタノデアリマスケレドモ、未ダ十分ナ整備ノ域ニ達シナイ、サウシテ目下ノ國家ノ要請ハ、東北ハ人的物的資源ノ益澤山ナコトヲ要請ヲシテ居ルノデアリマス、自然赤字デアツテモヤラナケレバナラ

ス、斯ウ云フ事態デアリマス、赤字増產ヲ來ヌノデアリマスカラ、勢ヒ政府ガ之ニ對シテ十分ナ補助ヲスル、或ハ東北興業ヲシテ思ヒマス、ドウモ是ハ簡單明瞭ニ政府ガ二千万圓ソツクリ御出シニナツタ方ガ宜クハナカツタカト云フヤウナ感ジガヤハリ致スノデアリマス、ソレカラ政府ノ配當補償金ノ如キモ、從來ヨリハ格段ニ増シテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ結論ニナルト思ヒマス、此ノ東北興業或ハ東北振興ノ豫算ト云フモノハ、一年前ノ餘程日本ノ旗色ノ良イ時ノデアリマス、ソレ程人目的ナリ物的ナリ、又法案デアラウト思フノデアリマス、ノ要件ニ對シテ、政府ガ極度ナ要求ヲシナクテモ宜カリサウニ見エタ時代ノ編成デアリ、又法案デアラウト思フノデアリマス、隨テ東北興業ニ關スル限りハヤツト水準ニ達シテ、人並扱ヒヲ受ケタト云フコトハ多トスペキコトデアリマスケレドモ、本當ニ時局ニ對応シテ行クニハ此ノ程度デハイケナイ、モツト擴大強化ラシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ感ズルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○宇都宮政府委員 會社ノ機能ガ幸ヒニ強化致サレマシタル場合ニ於キマシテハ、御譯ニ行カナイ、餘リ多額ノ政府ノ補給金ヲ受ケルコトハ遠慮シナケレバナラヌト云フ御趣旨ハ尤モデアリマスガ、併シ恐らく東北興業ニ對スル非難ガアリトスレバ、ソレハ東北興業ガ國策會社デアツテ、サウシテ又營利モ考ヘナケレバナラヌト云フニ努メタイト考ヘテ居リマス、在來東北興業ハ儲ケ主義ガ相當アリハセヌカト云フヤ云フ譯デハナイノデアリマスガ、會社トシテ手ヲ着ケマス場合ニ、全然事業トシテ成

ス、斯ウ云フ事態デアリマス、赤字増產ヲ來ヌノデアリマスカラ、勢ヒ政府ガ之ニ對シテ十分ナ補助ヲスル、或ハ東北興業ヲシテ思ヒマス、ドウモ是ハ簡單明瞭ニ政府ガ二千万圓ソツクリ御出シニナツタ方ガ宜クハナカツタカト云フヤウナ感ジガヤハリ致スノデアリマス、ソレカラ政府ノ配當補償金ノ如キモ、從來ヨリハ格段ニ増シテヤラナケレバナラナイト思フノデアリマス、ソレニハ恐ラク政府ノ東北興業ニ對スル補償金ノ如キモ、從來ヨリハ格段ニ増シテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ結論ニナルト思ヒマス、此ノ東北興業或ハ東北振興ノ豫算ト云フモノハ、一年前ノ餘程日本ノ旗色ノ良イ時ノデアリマス、ソレ程人目的ナリ物的ナリ、又法案デアラウト思フノデアリマス、ノ要件ニ對シテ、政府ガ極度ナ要求ヲシナクテモ宜カリサウニ見エタ時代ノ編成デアリ、又法案デアラウト思フノデアリマス、隨テ東北興業ニ關スル限りハヤツト水準ニ達シテ、人並扱ヒヲ受ケタト云フコトハ多トスペキコトデアリマスケレドモ、本當ニ時局ニ對応シテ行クニハ此ノ程度デハイケナイ、モツト擴大強化ラシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ感ズルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其ノ點ヲ今御聽キシタノデアリマス、政府ノ補給金ハ會社ノ第十五營業年度デ打切ラレマス、又其ノ限度モ六分ノ配當ト借入金、社債ノ利子ト云フヤウナ風デアリマス、又經營シマス者ノ責任ト致シマシテモ、サウ國費ヲ出シテドンノヤルト云フヤウナコトニバカリ力ヲ入レル譯ニモ行キマセヌ、其ノ點ハ一寸口デ申上ゲラレナイ微妙ナ所ガアルノデスガ、併シ幸ヒニ機能が強化致シマスレバ、十分其ノ使命ニ鑑ミテ仕事ヲスルヤウニ致サセタイト考ヘテ居リマス

○高橋(壽)委員 東北興業ハ政府ニバカリ賴ル譯ニ行カナイ、餘リ多額ノ政府ノ補給金ヲ受ケルコトハ遠慮シナケレバナラヌト云フ御願ヒ致スノデアリマス、此ノ度ノ戰爭デ特ニ痛切ニ感ジマスコトハ、海外ニ在ル資源ニ依存シテハナラヌト云フコトデス、其ノ事ハ吾々軍事上ノ見地カラ數年來幾度モ政府ニ進言シタノデアリマスケレドモ、イヤ其處ハ我國ノ生命線デアルカラ、十分ニ確保シテヤルト云ツタヤウナ軍部ノ聲明ナドモアリマシテ、私共ハソレハ人ノ懷ロコトニスル無錢遊興ニ類スルモノダトマデ極少足ノ草鞋ヲ穿ク點ニアルト思ヒマス、隨テ本當ニ東北興業會社ヲ活動セシムル爲ニハ、モツト根本的ナ機能其ノモノヲ改メナケレバナラヌト云フ論者モ少クナイ、併シソン言シタノデアリマスガ、顧ミラレナカツタ、今日ニナツテ來ルト不幸ニシテ吾々ノ豫想通リノ有様ニナツテ、海外ノ資源ニハモウ依存スルコトガ危険ダト云フコトガハツキリト分ツタノデアリマス、ドウシテモ國內資源ヲ開發シナケレバナラヌ、サウ云フ見地カラ見テ廻リマスト恐ラク内地デ殘サレ兎モ角モ東北ト云フ所ハ今マデ非常ニ引合

ロ東北ヨリモ拓殖計畫、其ノ他ノ關係デ開  
發サレテ居ルト思ヒマス、未開發ノ地域ハ  
國內デ何處カト云ヒマシタナラバ、私ハ東  
北グラウト思フ、東北ニハ遺利ガマダ澤山  
アルノデアリマス、一例ヲ取ツテ見マスト、  
曾テ山田線ガ昭和九年デシタカニ開通シタ  
ノデアリマス、アノ線路ハ鐵道當局モオイ  
デノヤウデスガ、丁線ト云フカ簡易線ト云  
フカ、宮古カラ釜石間ノ線路ハ最モ貧弱ナ  
線路デス、ソレガ建設後三、四年ニシテモウ  
改造シナケレバナラヌ、デスカラ東北ハ貧  
弱デハアリマスケレドモ、資源ヲ開發スレ  
バ相當ナモノガ出テ來ル、アレハ曾テ貴族  
院デ、コンナ所ヘ鐵道ヲ敷イテ、猿デモ乘  
セルノカト極言サレタ鐵道デアリマス、モ  
ウ今日ハ盛ンナ黒字デ、アレカラ出ル農產  
物、林產物、水產物、殊ニ此ノ頃ハ陸運ニ  
依ル釜石ノ鐵鑛石ノ大輸送、ヤツテ見ルト  
豫想外ニモノガ出ル、ソレダケ地下資源モ  
豊富デス、天然資源モ多イノデス、ソレデ  
ソレ等ノコトヲ考ヘテ見マスト、天下ノ精  
銳ヲ以テ鳴ツテ居ル東北ノ將兵、其ノ將兵  
又砂鐵ノ如キモ非常ニ無量ニアルト云フヤ  
ウナ狀況デアリマスノデ、之ヲ開發スルト  
云フコトハ、恐ラク生産擴充ニ關係ノアル  
官廳方面ハ全員異議ノナイ所デ、御承知ノ  
コトニ決メルノモ如何カト思ヒマス、在來  
總裁副總裁其ノ他ノ方デ東北出務ノ方モ御  
承知ノヤウニアリマス、現在ノハナカツタ  
ノデアリマス、モウ東北振興ヲ叫バレテ、  
東北興業會社或ハ東地振興電力會社ガ生レ  
タ時代トハ、劃期的ノ變ツタ時代ニナツテ  
ノデアリマス、モウ東北振興ヲ叫バレテ、  
ル考ヘテ以テ臨マナケレバナラヌ、何時マ  
デモ古イ酒囊ヲ今持チ歩ク時代デハナイト

口東北ヨリモ拓殖計畫、其ノ他ノ關係デ開  
發サレテ居ルト思ヒマス、未開發ノ地域ハ  
國內デ何處カト云ヒマシタナラバ、私ハ東  
北グラウト思フ、東北ニハ遺利ガマダ澤山  
アルノデアリマス、一例ヲ取ツテ見マスト、  
曾テ山田線ガ昭和九年デシタカニ開通シタ  
ノデアリマス、アノ線路ハ鐵道當局モオイ  
デノヤウデスガ、丁線ト云フカ簡易線ト云  
フカ、宮古カラ釜石間ノ線路ハ最モ貧弱ナ  
線路デス、ソレガ建設後三、四年ニシテモウ  
改造シナケレバナラヌ、デスカラ東北ハ貧  
弱デハアリマスケレドモ、資源ヲ開發スレ  
バ相當ナモノガ出テ來ル、アレハ曾テ貴族  
院デ、コンナ所ヘ鐵道ヲ敷イテ、猿デモ乗  
セルノカト極言サレタ鐵道デアリマス、モ  
ウ今日ハ盛ンナ黒字デ、アレカラ出ル農產  
物、林產物、水產物、殊ニ此ノ頃ハ陸運ニ  
依ル釜石ノ鐵鑛石ノ大輸送、ヤツテ見ルト  
豫想外ニモノガ出ル、ソレダケ地下資源モ  
豊富デス、天然資源モ多イノデス、ソレデ  
ソレ等ノコトヲ考ヘテ見マスト、天下ノ精  
銳ヲ以テ鳴ツテ居ル東北ノ將兵、其ノ將兵  
又砂鐵ノ如キモ非常ニ無量ニアルト云フヤ  
ウナ狀況デアリマスノデ、之ヲ開發スルト  
云フコトハ、恐ラク生産擴充ニ關係ノアル  
官廳方面ハ全員異議ノナイ所デ、御承知ノ  
コトニ決メルノモ如何カト思ヒマス、在來  
總裁副總裁其ノ他ノ方デ東北出務ノ方モ御  
承知ノヤウニアリマス、現在ノハナカツタ  
ノデアリマス、モウ東北振興ヲ叫バレテ、  
東北興業會社或ハ東地振興電力會社ガ生レ  
タ時代トハ、劃期的ノ變ツタ時代ニナツテ  
ノデアリマス、モウ東北振興ヲ叫バレテ、  
ル考ヘテ以テ臨マナケレバナラヌ、何時マ  
デモ古イ酒囊ヲ今持チ歩ク時代デハナイト

思ヒマス、隨テ政府當局ニ於カセラレマシ

テハ、此ノ度ノ東北興業ノ機能強化ニ満足  
セラレナイデ、來年ヲ俟タズ今カラデモ直  
グニソレ等ノ施策ニ邁進セラルベキデアラ  
ウト思ヒマスガ、政府ノ御所見ハ如何デア  
リマスカ

○宇都宮政府委員 東北振興ト云フ問題ガ

最近ニ強ク叫バレマシタノハ、昭和九年

ノ冷害ヲ機會トシタノデアリマスガ、其ノ

時ハ御承知ノヤウニ救濟トカ、或ハ應急策

トカ云フヤウナコトガ主ニナツタノデゴザ

トカ云フヤウナコトガ主ニナツタノデゴザ

ト思フ、豫定線ハ澤山アリマス、實際ニ架

カツテ居ル鐵道ハ御述べニナル程澤山ハナ

カラウト思ヒマス、最後ニ一言伺ヒタイノ

ト思フ、豫定線ハ澤山アリマス、實際ニ架

</

デアリマスルコト、及ビ先程モ御話ガ出マシタ相當資源ガ残サレテ居ルト云フヤウナコトデ、他ノ地方ニ比ベテ可ナリ特殊ナ位置ニアル、斯様ニ考ヘマスルノデ、鐵道ノ普及ヲ圖ルト云フコトハ、極メテ緊要デアルト平生考ヘテ居リマス、併シ只今日ノ情勢ニ於キマシテ、特ニ石炭ヲ主トシマスル重要物資ノ輸送ト云フコトガ非常ニ重要ニナツテ參リマシタノデ、其ノ方面ニ非常ニ多クノ資材ヲ要スル、東北デ申シマスルト、東北ノ幹線ノ増強及ビ主トシテ北海道關係デアリマスガ、海陸連絡施設ノ増強ト云フヤウナ問題ニ相當力ヲ入レル必要ガアリマスノデ、一方重要資源ノ開發ト云フコトニナリマスルト、超重點的ニ路線ヲ選ビマシテ、ソレヲ急速ニ實施スルト云フ建前ヲ執ツテ居リマス、東北ニ於ケル資源開發ト云フ意味ノ新線ト致シマシテハ、大畑線、小本線及び釜石線ノ工事ノ促進、ソレカラ氣仙沼線ノ工事ト云フヤウナコトヲ、十八年度ニ於テ最モ力ヲ入レテ參リタイト考ヘテ居リマス、主要幹線ノ増強ニ付キマシテハ、青森ノ水陸連絡施設及び其ノ背後ノ操車場ノ設備、ソレカラ東北本線ノ岩切・一ノ關間線路ノ増設ト云フヤウナ、是ハ主ナモノヲ拾ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ最モ力ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○小野寺委員 鐵道ノ計畫ニ付テ拜聽致シマシタ、ソレデ東北ノ交通不便、殊ニ此ノ時局下大切な資源ヲ開發スル爲ニ、肝要ナ部面ニハ鐵道當局ニ於カレテモ自動車ノ運行ヲ特ニ計畫シテ載キタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス  
○前田委員長 庄司君

○庄司委員 鐵道省ノ政府委員ニ簡單ニ一  
間ダケ御尋ネヲ申上ガタイト思ヒマス、獨リ私ダケデハナク、先輩同僚諸君ハ、交々情勢ニ於キマシテ、特ニ石炭ヲ主トシマスル重要物資ノ輸送ト云フコトガ非常ニ重要ニナツテ參リマシタノデ、其ノ方面ニ非常ニ多クノ資材ヲ要スル、東北デ申シマスルト、東北ノ幹線ノ増強及ビ主トシテ北海道關係デアリマスガ、海陸連絡施設ノ増強ト云フヤウナ問題ニ相當力ヲ入レル必要ガアリマスノデ、一方重要資源ノ開發ト云フコトニナリマスルト、超重點的ニ路線ヲ選ビマシテ、ソレヲ急速ニ實施スルト云フ建前ヲ執ツテ居リマス、東北ニ於ケル資源開發ト云フ意味ノ新線ト致シマシテハ、大畑線、小本線及び釜石線ノ工事ノ促進、ソレカラ氣仙沼線ノ工事ト云フヤウナコトヲ、十八年度ニ於テ最モ力ヲ入レテ參リタイト考ヘテ居リマス、主要幹線ノ増強ニ付キマシテハ、青森ノ水陸連絡施設及び其ノ背後ノ操車場ノ設備、ソレカラ東北本線ノ岩切・一ノ關間線路ノ増設ト云フヤウナ、是ハ主ナモノヲ拾ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ最モ力ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○小野寺委員 鐵道ノ計畫ニ付テ拜聽致シマシタ、ソレデ東北ノ交通不便、殊ニ此ノ時局下大切な資源ヲ開發スル爲ニ、肝要ナ部面ニハ鐵道當局ニ於カレテモ自動車ノ運行ヲ特ニ計畫シテ載キタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス  
○前田委員長 庄司君

○庄司委員 鐵道省ノ政府委員ニ簡單ニ一  
間ダケ御尋ネヲ申上ガタイト思ヒマス、獨リ私ダケデハナク、先輩同僚諸君ハ、交々情勢ニ於キマシテ、特ニ石炭ヲ主トシマスル重要物資ノ輸送ト云フコトガ非常ニ重要ニナツテ參リマシタノデ、其ノ方面ニ非常ニ多クノ資材ヲ要スル、東北デ申シマスルト、東北ノ幹線ノ増強及ビ主トシテ北海道關係デアリマスガ、海陸連絡施設ノ増強ト云フヤウナ問題ニ相當力ヲ入レル必要ガアリマスノデ、一方重要資源ノ開發ト云フコトニナリマスルト、超重點的ニ路線ヲ選ビマシテ、ソレヲ急速ニ實施スルト云フ建前ヲ執ツテ居リマス、東北ニ於ケル資源開發ト云フ意味ノ新線ト致シマシテハ、大畑線、小本線及び釜石線ノ工事ノ促進、ソレカラ氣仙沼線ノ工事ト云フヤウナコトヲ、十八年度ニ於テ最モ力ヲ入レテ參リタイト考ヘテ居リマス、主要幹線ノ増強ニ付キマシテハ、青森ノ水陸連絡施設及び其ノ背後ノ操車場ノ設備、ソレカラ東北本線ノ岩切・一ノ關間線路ノ増設ト云フヤウナ、是ハ主ナモノヲ拾ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ最モ力ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○小林(紫)政府委員 只今ノ東北本線ノ複線ノ實現化ヲ圖ラウトサレテ居ルノデアルカドウカ、其ノ複線化ニ關スル根本的な御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス、東海道線或ハ關西線ハ、所謂滿洲國或ハ中華民國ニ對スル關係モゴザイマセウガ、現在ニ於テモ所謂複々線デアル、然ルニ東北ノ方ハ漸ク宇都宮マデガ複線デアリマシテ、アトハ今申上ゲタヤウナ部分的ナ膏藥貼リマスルコト、而モ東海道線ノ如キハ複々線デアルニ拘ラズ、更ニ下關マデ興亞鐵道トカ何トカ云フ名前ノ下ニ、專用ノ廣軌ノ鐵道ノ過去十箇年程前ヨリ、鐵道省ノ所謂東北本線ヲシテ、完全ナル所ノ複線化ノ實現ヲ見タイト云フ熱望ヲ持ツテ、鐵道當局ニ強ク要請シテ参ツタノデアリマス、然ルニ昨年ヘ郡山驛ノ附近デアルトカ、今年ヘ宮城縣ノ岩切附近デアルトカ何トカ、極メテ小規模ノ部分的ナ、膏藥貼リノヤウナ施設ヲサレテ居ルヤウニ見受ケマス、此ノ施設ハ五箇年或ハ十箇年ノ將來ト雖モ、只今ノヤウナ御計畫ニ於テ複線化ヲ圖ラルナルナラバ、所謂百年河清ヲ俟ツト云フヤウナ狀態デハナカラウカ、私自身モ現ニ第七十五議會ニ於テ其ノ時ノ松野鐵道大臣ニ、又昨年ヘ豫算總會ニ於テ現八田鐵道大臣等ニ、東北本線ノ複線化ヲ、速カニ全線ニ亘ツテ、實現スルコトノ要請ヲ致シマシタ所、資材其ノ他ノ關係等モアリ、着々計畫化シテ行キタイト云フヤウナ御答辯ハアツタノデアリマスルガ、其ノ後ノ模様ヲ見ルニ、ドウモ其ノ計畫ノ實現ガ進マナイ、成程部分的ニハ何「キロ」カノ御計畫ハアルヤウデアルガ、一體鐵道省ハ向五箇年計畫トカ、或ハ十箇年計畫トカ云フ計畫性ヲ持ツテ居ラレ、東北本線ノ複線化ヲ圖ラウトサレテ居ルノデアルカドウカ、其ノ複線化ニ關スル根本的な御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス、東海道線或ハ關西線ハ、所謂滿洲國或ハ中華民國ニ對スル關係モゴザイマセウガ、現在ニ付テハ十分ニ努力シ、今後着々ヤツテ行クト云フヤウナナ話ガアツタヤウデアリマス、吾々ト致シマシテハ、殊ニ最近ノ情勢ニ依リマスト、東北輸送ノ重大性ト云フコトヲ辨ニト感ジテ參ツタノデアリマス、是ハ大體我ガ國ハ四面海ヲ環ラシテ居リマ

ス關係上、從來船ニ頼リ、海路ニ頼ルト云  
リマス、隨ヒマシテ、我ガ國ノ鐵道ト云フ  
モノハサウ云フ情勢ノ下ニ育ツテ參リマシ  
タ關係上、非常ニ大量ナ長距離ノ貨物ヲ輸  
送スルト云フヤウナコトニ付テハ弱體ナノ  
デアリマス、隨ヒマシテ、最近船舶デ運ン  
デ居リマシタモノガ陸上ニ上ツテ參リ、陸上  
デドウシテモ輸送シナケレバイカスト云フ  
ヤウナ情勢ニナリマスルト、非常ニ弱體デ  
アリマス、隨ヒマシテ東北方面ト云ハズ、  
全國ノ輸送力ノ増強ト云フコトハ非常ニ急  
務ダト考ヘルノデアリマス、併シナガラ一  
方ニ於テ資材其ノ他ニ制約ヲ受ケマスルノ  
デ、先ヅ以テ輸送ノ隘路ニナリマスル所、  
輸送ニハ、鐵道線路ニハクビレガアリマ  
ス、輸送力ガ制限セラレル場所ガアリマ  
ス、其ノ隘路ヲ先ヅ以テ救濟スルト云フコ  
トガ、今ノ目ノアタリノ急務ダト斯様ニ考  
ヘルノデアリマス

○前田委員長 高橋壽太郎君  
○高橋(壽)委員 一點伺ヒタイノデスガ、ソレハ三陸海岸縦貫線ノ鐵道ノコトデアリマス、御承知ノ通ニ八戸線ガ久慈マデ來テ居リマス、山田線ガ宮古ヘ首ヲ出シマシソ、釜石マデ行ツテ居リマス、ソレカラ一ノ關カラ分岐シマシタ鐵道ガ盛マデ行ツテ止ツテ居リマス、盛、釜石、宮古、久慈、是ダケノ所ガ缺ケテ居リマシテ、是ハ鐵道豫定線ノ六號カト思ヒマスガ臨路ドコロデハナイ、チヨン切レテ居ル譯デアリマス、例ヲ取ツテ申シマスト、宮古カラ久慈ヘ參リマスノニ、直距離デハ六十何「キロ」シカナインデアリマスガ、鐵道線路デ行キマスト二百四十「キロ」バカリ、正ニ四倍デアリマス、四角形ノ三邊デハナイ、四角形ノ四邊ヲ歩イテ居ルヤウナ工合デアリマス、非常ナ不便デアリマス、此ノ沿線ニハ田老鑛山アリ久慈ノ砂鐵アリ、南ノ方ニハ釜石ノ大鐵山、地下資源グケデモ相當ナモノデアラウト思フ、此方面ニ於ケル試掘出願ノ數カラ見マシテモ、相當ナ地下資源ヲ埋藏シテ居ルコトハ明カナノデアリマス、所ガ此ノ鐵道ハ恐らく大正七、八年頃ニハ豫定線ニナツテ居ル、爾來茲ニ三十年近クナリマス、先ノ烏ガ後ニナルト云フ譬ヘガアリマスガ、取残サレタ、幸ヒニ最近ニナリマシテ、一昨年デアリマスカ、表線ノ一部十ルト云フコトデアリマス、洵ニ結構デアリマスガ、今申シマシタ三陸海岸縦貫線ト云フノハ日本ノ鐵道ノ大動脈デアリマス、大キイ眼デ見ルナラバ、東北本線ニ並ンデ大

幹線デス、ソレガ此ノ頃ハ殆ンド顧ミラレナ  
イト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマス、オ  
負ケニマダ省營自動車スラモ開設シテ居ラ  
ナイ、是ハ少クモ三陸ヲ通ジテノ大障碍デ  
アラウト思フノデアリマス、東北ノ資源開  
發ハ交通運輸ノ便ニ待ツ所ガ甚ダ多イノデ  
アリマスカラ此ノ東北開發ノソレコソ隘路  
デアリマス、癌ニナリマス此ノ點ヲ一ツ  
切閉シテ戴イテ、早ク鐵道ノ開通ヲ見ルヤ  
ウニ御願ヒシタインデアリマス、御當局ノ  
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○小林(紫)政府委員只今御話ノ三陸沿岸  
線デアリマスガ、御話ノ通り久慈カラ宮古マ  
デ、釜石カラ盛マテ云フ間ガ切レテ居  
ル譯デアリマス、吾々ト致シマシテハ、豫  
定線ニモアル線路デアリマシテ、時期到ラ  
バ着々豫定線ノ完成ヲシテ参リタイト考ヘ  
テ居ルノデアリマスガ、現在ノ只今ノ状態  
ニ於キマシテハ、極ク限ラレタル資材ヲ以  
チマシテ、急速ニ或ル一點ニ集中スルト云  
フヤウナ方針ヲ執ツテ居リマス爲ニ、延ビ  
延ビニナツテ居ル譯デアリマス、是ハ將來  
ノ問題ト致シマシテ、吾々トシテ十分努力  
致シタイ、斯様ニ考ヘマス  
○高橋(壽)委員 御説ノ通り、私共ハ其ノ  
ヤウナ事情ハ毎々政府カラ伺ツテ、洵ニ左  
様ダラウト存ジテ居リマス、唯此ノ頃ニナ  
リマスト、大東亞戰爭勃發後ニナリマシ  
テ、東北ノ邊海ニ只ナラヌ様子ガ現ハレテ  
不便ナ無防備ナ所ヲ狙ツテ來テ居ルト云フ  
コトハ明カニ推定出來ル、是ハ一ツノ軍事事  
上ノ弱點トモ申サナケレバナラヌノデアリ

マス、ドウカサウ云フ點ヲ御考慮ノ上、前申シマシタ鐵道線路ノ開通ニ對シテハ御努力致シマス、是モ第一期ヲ過ギ、第二期モ半バニナリマシタガ、今マデ監督官廳トシテ此ノ會社ノ從來ノ業績ニ對スル御批判ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス  
○前田委員長 一寸金子君ニ御伺ヒ致シマスガ、鐵道省ノ政府委員ハモウ必要アリマセヌカ  
○金子(定)委員 モウ宜シウゴザイマス  
○宇都宮政府委員 從來東北興業ノ仕事ニ對シテ東北局長ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、初メ會社ガ發足致シマシテカラ暫クノ間ハ仕事ノ進行状況ハ圓滑ヲ缺イテ居ツタ、隨テ地方ニ於キマシテハ色々ナ非難或ハ批評ヲ受ケテ居リマシタ、最近ニ至リマシテハ段々會社ノ實情モ分リ、國策會社ト云フモノニ對スル東北地方ノ人人ノ認識モ深マツテ參リマシタ、會社ノ方モ東北ノ實情ニ對スル認識モ深マツテ參リマシタ、又政府自體ノ東北振興ニ關スル認識モ深マツテ參リマシタ、東北振興事業ト致シマシテハ、只今ノ所ハ先づ十分トハ申上ゲラレマセヌガ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルモノト、斯ウ見テ宜イト考ヘマス、勿論個々ノ點ニ於キマシテ不十分、或ハ不備ノ點ガアルト云フコトハ私モ認メテ居リマスガ、大體ノ傾向カラ言ヒマスト、國策會社トシテ只今ヤツテ居リマスル狀況ハ、先づ此ノ程度ナラ宜シイ、併シテ此ノ會社ノ從來ノ業績ニ對スル御批判ヲ道省ニ對スル質問ハ終リマス

○金子(定)委員 最近會社ノ幹部ガ相當精勵シテ居ラレル噂ハ聞イテ居リマス、遠イ過去ニ屬スルコトハ此ノ席デ遠慮シタイコトモアリ、又御答ヘシニクイ點モアラウト思ヒマスノデ、ソレハ差控ヘマス

會社ノ成立ノ動機ハ先程ノ問答ニモアリマシタ通り、東北農民ノ冷害、雪害ノ救濟ト云フコトガ動機デアツタ記憶致シマス、尤モ此ノ時局ニナリマシテ大分變ツテ來テ居ルコトト思ヒマスガ、當初ノ動機ト云フノハドノ點ヲ官廳トシテ考ヘラレテ居リマスカ、是ハ冷害雪害ニ惱ム東北農村農民ノ振興ト云フコトハ、全然放擲シタ御氣持テ監督ヲシテイラツシヤルノデアリマスカ、ソレトモ幾分ナリトモ此ノ氣分ヲ存シテ居ラレルノデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○宇都宮政府委員 是ハ考ヘト實際トガ合ツテ居ラヌコトヲ遺憾トスルノデアリマスガ、東北興業會社ガ出來マシタ當時、肥料ノ增産ト云フコトハ胃頭ニ掲グテ居ル重要な項目デアリマシタ、中デモ硫安ヲ製造スルト云フコトニ付テハ非常ナ抱負ヲ持ツテ居リマシタ、ソレデ屢々色々ナ方面、或ハ色ナ資料ニ基キマシテ計畫ヲ立てタコトモ

ミ掛ケタモノモアツタノデアリマスガ、各般ノ事情デ實現致シテ居リマセヌ、隨テ會社ガ自分で起シタ硫安ノ會社ト云フモノハアリマセヌ、此ノ點ハ非常ニ借金ニナツタヤウナ積リデ考ヘテ居リマス、昨年カラ秋田ニアリマス旭化學工業ト云フ硫安ヲ造ツ料ト共ニ東北肥料ト云フ會社ニ致シマシテ、サウシテ在來五万「トン」ノ計畫デアツタモノヲ更ニ十万「トン」ヲ增産スルト云フ方向ニ進ンデ居リマス、是ハ會社ガ新シク作ツタモノデハゴザイマセヌケレドモ、在來ノ旭化學ノ工場ニ活ヲ入レテ、増産ヲシテ行クコトニ着手致シテ居リマス、又小坂ノ銅ヲ非常ニ増産致シマスニ付テ藤田君ト協力スルコトニナリマシタガ、其ノ爲ニ出来マス硫黃分ノ處理ニ付キマシテ、ヤハリ硫安ヲ造ルノヲ適當トシテ、是亦相當大キイ、十万「トン」ノ計畫ヲ持ツテ居リマス、之ニ付キマシテハ農林省方面ニ於テモ非常ニ期待ヲ掛ケテ吳レテ居リマシテ、此ノ點ハ相當希望ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、初メノ旭化學ノ増産ハ、是ハ現實ニ着手致シタモノデアリマスガ、其ノ増產ニ付キマシテモヤハリ小坂ノ硫黃分處理ト云フコトガ非常ニ與ツテ力ガアル譯デス、ソレカラ石灰窒素ハ岩手縣ノ和賀川ニ東北振興化學ト云フ工場ガアリマシテ、其處デ八千「トン」「ブラン」<sup>2</sup>デ石灰窒素ヲ現ニ造ツテ居リマス、是ハ上成績デ出來テ居リマス、是ガ今度増資セラレマシタ曉ニ於キマシテハ、更ニ更ニ増産ヲスル計畫ニ致シテ居リマス、ソレカラヤハリ小坂カラ出テ來マス四硫化二矽ヲ使ヒマシテ、南洋カラ來マス鑛石ガ入ツ

アリマス  
ソレカラ東北地方ノ冷害克服ニ付キマシテハ、更ニ耕地ノ改良ト云フコトガ非常ニ重要デ、而モ是ハ費用ガ少クシテ效果ノ多イモノデアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレニ付キマシテハ先ツ土管ガ非常ニ澤山要リマス、計畫ニ依リマスレバ年ニ二千万本ノ土管ガ要ルトサヘ言ハレテ居リマス、此ノ東北ニ於ケル現在ノ土管ノ供給地ハ何處カト申シマスルト、地方ニ依ツテマシテ、東北興業デハ現ニ山形縣ニ工場ヲ持チマシテ、遠カラヌ内ニ製造ノ始マル状況ニアリマス、又其ノ他ノ縣ニ於キマシテモ、既ニ土管ノ工場ノ會社設立ノ手續ガ具體的ニ進行政致シテ居ルノモゴザイマス、ソレカラ寒地農業ノ指導、是ハ主トシテ農林省ガ國家的ニヤルベキ仕事デアルト考へマスガ、開發營團デ開發シマシタ跡ニ付キマシテ、東北興業ガ或爾面積ヲ引受ケテソレニ烟作或ハ有畜農業ヲ加味シタ烟作ノ指導、或ハ模範的農業ヲ經營シテ行キタイト云フ方面ニ對シテ非常ニ力ヲ盡スコトハ當然デアリマス、結果ハ其ノ初メノ意氣込程現在

行ツテ居ナイト云フ状況デアリマスガ、決シテはハ等閑ニ附シテ居ルノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス  
○金子(定)委員 時局上電力ノコトハ差措キマシテ、只今肥料竝ニ耕地改良上ノコトニ付キマシテ御話ヲ伺ヒマシタ、ソレダケ當局ガ關心ヲ持ツテ居ラレバ結構ダト思ヒマス、ドウゾ時局モ時局、東北ノ農民モ農民デアリマス、何分宜シク御願ヒ致シマス  
尙ホ聊カ感情論ニナリマスケレドモ、吾吾東北ニ歸リマスト、忌憚ノナイ話ハ、東北ノ興業ト云フモノハ、東北ノ零細ナ資本ヲ集メテ中央ノ事業家ガ之ヲ使フノデアルト云フヤウナ風評ガ絶エナイノデアリマシテ、此ノ結果ガ國家ノ増産トナリ、此ノ時局ニ貢獻スレバ満足トスル譯デアリマスルケレドモ、先刻カラ何遍モ話が出来マスヤウニ例ヘバ重役ノ人選ニ致シマシテモ――此ノ席ニハ東北人ノミナラズ、他ノ地方ノ議員ノ方モオイデナサツテ洵ニ有難イノデアリマスケレドモ、マア見渡ス所東北ノ人ガ多イ、斯ウ云ツタ關係デ、一地方ノ振興ト云ツタヤウナ事業ハ、ヤハリ地方ノ人ガ相當ニ重イ位置ニ置カレテ事話ヲシマスト、同ジ心配ヲシマシテモ見方ガ違フ、是ハ同ジ日本内ニアツテ洵ニドウモ氣ノ小サイヤウナ話ニ聞エルカモ知レマセヌケレドモ、實際ノ感情問題ハサウナノデアリマスカラ、ドウカ一ツ東北人ノ愛郷心ト云フモノヲ監督官廳デ能ク御使ヒナサツテ戴キタイ、マア從來ハ御話ノ通り農民ニ對シテモ理解ノアルヤウナ人ガ居東北出身ノ副總裁モ出タコトモアリ、理事モアツクト思ヒマスルガ、今後トモ何人カモハ東北ノ實情ニ能ク通じタ、又此ノ農村ナリ農民ニ對シテモ理解ノアルヤウナ人ガ居

ツテ吳レルト、感情論モ段々影ガ薄クナル  
ト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是ハ今マ  
デノ御答辯デ大抵分ツテ居リマスノデ、是  
デ差控ヘマス

最後ニ將來増資後ニ於ケル東北興業ト云  
フモノハ可ナリ面目ハ一新スルダラウト思  
ヒマス、隨ヒマシテ御監督ノ上カラモ、御  
指導ノ上カラモ、相當ニ監督官廳モ期スル  
所ガオアリト思フノデアリマス、其ノ點ニ  
付キマシテ御伺ヒシマシテ、吾々ノ將來ノ  
参考ニ資シタイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 東北興業ノ人的組織ニ  
付キマシテ御話ガアリマシタ、只今正副總  
裁ハ東北ノ人デハアリマセヌガ、理事ノ中  
ニハ東北ノ人ハ現在モゴザイマス、是ハ先  
程申上ゲマシタヤウニ、要スルニ適當ナル  
人ヲ得ルト云フコトデ、又御話ノヤウナ點  
頭ニ置クト云フヤウナコトデ行キマセヌ  
ト、一寸一律ニモ行カヌ所ダラウト思ヒマ  
ス、御話ノ點ハ能ク拜承致シテ置キマス

ソレカラ將來、増資ノ結果ヤルベキ仕事ノ  
方面デゴザイマスガ、一寸數字的ニ申上げ  
度末マデノ出資額、ソレハ一部豫定モ入り  
マスガ、ソレガ大體一億一千万圓ノ仕事ヲ  
ヤツタコトニ相成リマス、ソレガ一億六千万圓、  
合ハセマシテ一億七千万圓ト云フ仕事ヲ致  
シテ居リマス、其ノ中デ今マデノモノハ別  
ト致シマシテ、十八年度以降ノ分ニ付テ投  
資シマス豫定ノ金額ヲ、仕事ノ種類別ニ申  
上ゲテ見タイト思ヒマス、化學工業デゴザ  
イマスガ、是ハ約八千万圓ヲ十八年度カラ

二十三年度マデニ使ヒタイト思ツテ居リマ  
ス、其ノ中デ主ナルモノハヤハリ肥料關係  
ノモノガ非常ニ多ウゴザイマシテ、アトハ  
「バルブ」トカ、「メタノール」、「アルコ  
ル」、斯ウ云フヤウナモノノ製造事業ガ主ナ  
モノデアリマス、ソレカラ金屬工業ニ約一  
千五百万圓ヲ投ジテ居リマス、此ノ中デハ  
「アルミ」、「マグネシウム」ノ增産、斯ウ云  
フ風ナモノニ使ヒタイト思ツテ居リマス、  
ソレカラ機械工業ノ約一千七百万圓、是ハ  
軍需關係ノモノノ製造、ソレカラ造船斯ウ  
云フ風ナモノニ主トシカラ費ス、ソレカラ  
鑛山ノ開發、之ニ約三千三百万圓、是ハ主  
トシテ銅、鉛、亞鉛、石炭ト云フヤウナモ  
ノガ主ニナルノデアリマスガ、サウ云フ風  
ナコトヲ考ヘテ居リマス、大體サウ云フ方  
面ノ仕事ヲヤツテ行ク、御覽ノ通り現在ノ時  
局ニ於テ早急ニ增産セネバイカヌモノノミ  
ヲ取上ゲテ行クヤウニ致シタイト考ヘテ居  
リマス

○金子(定)委員 是デ私ノ質問ハ終リマス  
○前田委員長 只今ノ質疑ニ關聯シテ阿子  
島俊治君ニ質問ヲ許シマス

○阿子島委員 只今東北局長ハ金子サンノ  
質問ニ御答ヘニナリマシテ、東北振興會社  
ノ出來タ抑々ノ目的ハ、東北農村ノ問題  
デアルノダ、ダカラ今後ハ土管ノ製造會  
社ノヤウナモノモ考ヘル、肥料ニ付テハ秋  
田縣ニ既ニ出來テ居ルシ、私共モ之ラ昨年  
視察致シマシテ、疏安肥料ノ所ヲ見テ參り  
マシタ、甚ダ結構ダト思ツテ居リマス、ソ  
コデ私御伺ヒシタイノデアリマスガ、只今  
ノ御答ヘヲ聞イテ居リマスト、サウシタ農  
村資材ニ關係スル工場ガ出來上リマシテ、  
其ノ生產品ト云フモノヲ、東北農村ノ爲ニ

之ヲ優先的ニ配給サレルモノデアルカ、是  
ガ先ヅ第一點デゴザイマス、從來東北興業  
ス、其ノ中デ主ナルモノハ統制會社ニ於テ配給  
ガ、却テ東北地方ニソレガ優先配給サレナ  
其ノ他ノ資材トシテ出來上ツタモノモ、往  
往ニシテ他ノ地方ノ目的ニ使用セラレマシ  
テ、却テ東北地方ニソレガ優先配給サレナ  
「アルミ」、「マグネシウム」ノ增産、斯ウ云  
フ風ナモノニ使ヒタイト思ツテ居リマス、  
ソレカラ機械工業ノ約一千七百万圓、是ハ  
軍需關係ノモノノ製造、ソレカラ造船斯ウ  
云フ風ナモノニ主トシカラ費ス、ソレカラ  
鑛山ノ開發、之ニ約三千三百万圓、是ハ主  
トシテ銅、鉛、亞鉛、石炭ト云フヤウナモ  
ノガ主ニナルノデアリマスガ、サウ云フ風  
ナコトヲ考ヘテ居リマス、大體サウ云フ方  
面ノ仕事ヲヤツテ行ク、御覽ノ通り現在ノ時  
局ニ於テ早急ニ増産セネバイカヌモノノミ  
ヲ取上ゲテ行クヤウニ致シタイト考ヘテ居  
リマス

ソレカラ第二番目ハ、サウ云フ風ニスル  
コトハ、現下ノ重要問題ニナツテ居リマス  
所ノ輸送力ノ關係ニ依ツテ、ソレヲナサレ  
ルノデアルカ、或ハ抑々東北振興會社ガ出  
來上ツタ目的デアル東北農村ノ振興ト云フ  
點カラ見テ、サウ云フコトヲオヤリニナル  
ノカドウカ、是ハ指導精神ノ問題ニナリマ  
スガ、第二點トシテ御伺ヒシタイ  
第三點ハ肥料ニシテモ、土管ニシテモ、  
農業用資材デアルカラ、是ハ當然物動ノ面  
ニ入ツテ居ルベキモノデアリマス、隨テ是  
ハ全國全部ノモノガ物動ニ計上サレルコト  
ニナルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニナ  
ルト農林省ガ農林省一存ノ考ヘノ下ニ、肥  
料ナリ土管ナリノ配給ラスルコトニナルノ  
デアリマスガ、サウシタ場合ニ於テモ土管  
程申シ落シマシタガ、東北興業トシテハ農  
業用ノ機械モ相當作ツテ居リマス、是ガ御  
用ノヤウニ折角東北デアリマシテモ、東北  
デ需要ガナイ爲ニ、他地方ヘ行ツテ居ルコ  
トガ多ウゴザイマシテ、吾々ノ豫想ニ反シ  
タコトモアリマスガ、是ガ若シ東北ニ需要  
ガアリマスレバ、東北ノ方面ニ無論優先的  
ニ是ガ賣ラレルト云フコトハ考ヘラレル、  
ソレカラ其ノ次ニ輸送力ノ問題ト東北振  
興トノ關係デゴザイマスガ、是モ現在ノヤ

統制ニナツテ居ルモノモゴザイマシテ、例  
へバ肥料ノ如キモノハ統制會社ニ於テ配給  
ス、其ノ中デ主ナルモノハヤハリ肥料關係  
ノモノガ非常ニ多ウゴザイマシテモ、近イ所ヘ配  
給スルコトニナツテ居リマスガ、東北振興ノ  
趣旨ニ依ツテ、又國策ニ應ジテ東北デ作り  
ガ先ヅ第一點デゴザイマス、從來東北興業  
ス、其ノ中デ主ナルモノハヤハリ肥料關係  
ノモノガ非常ニ多ウゴザイマシテ、アトハ  
「バルブ」トカ、「メタノール」、「アルコ  
ル」、斯ウ云フヤウナモノノ製造事業ガ主ナ  
モノデアリマス、ソレカラ金屬工業ニ約一  
千五百万圓ヲ投ジテ居リマス、此ノ中デハ  
「アルミ」、「マグネシウム」ノ增産、斯ウ云  
フ風ナモノニ使ヒタイト思ツテ居リマス、  
ソレカラ機械工業ノ約一千七百万圓、是ハ  
軍需關係ノモノノ製造、ソレカラ造船斯ウ  
云フ風ナモノニ主トシカラ費ス、ソレカラ  
鑛山ノ開發、之ニ約三千三百万圓、是ハ主  
トシテ銅、鉛、亞鉛、石炭ト云フヤウナモ  
ノガ主ニナルノデアリマスガ、サウ云フ風  
ナコトヲ考ヘテ居リマス、大體サウ云フ方  
面ノ仕事ヲヤツテ行ク、御覽ノ通り現在ノ時  
局ニ於テ早急ニ増産セネバイカヌモノノミ  
ヲ取上ゲテ行クヤウニ致シタイト考ヘテ居  
リマス

ソレカラ第二番目ハ、サウ云フ風ニスル  
コトハ、現下ノ重要問題ニナツテ居リマス  
所ノ輸送力ノ關係ニ依ツテ、ソレヲナサレ  
ルノデアルカ、或ハ抑々東北振興會社ガ出  
來上ツタ目的デアル東北農村ノ振興ト云フ  
點カラ見テ、サウ云フコトヲオヤリニナル  
ノカドウカ、是ハ指導精神ノ問題ニナリマ  
スガ、第二點トシテ御伺ヒシタイ  
第三點ハ肥料ニシテモ、土管ニシテモ、  
農業用資材デアルカラ、是ハ當然物動ノ面  
ニ入ツテ居ルベキモノデアリマス、隨テ是  
ハ全國全部ノモノガ物動ニ計上サレルコト  
ニナルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニナ  
ルト農林省ガ農林省一存ノ考ヘノ下ニ、肥  
料ナリ土管ナリノ配給ラスルコトニナルノ  
デアリマスガ、サウシタ場合ニ於テモ土管  
程申シ落シマシタガ、東北興業トシテハ農  
業用ノ機械モ相當作ツテ居リマス、是ガ御  
用ノヤウニ折角東北デアリマシテモ、東北  
デ需要ガナイ爲ニ、他地方ヘ行ツテ居ルコ  
トガ多ウゴザイマシテ、吾々ノ豫想ニ反シ  
タコトモアリマスガ、是ガ若シ東北ニ需要  
ガアリマスレバ、東北ノ方面ニ無論優先的  
ニ是ガ賣ラレルト云フコトハ考ヘラレル、  
ソレカラ其ノ次ニ輸送力ノ問題ト東北振  
興トノ關係デゴザイマスガ、是モ現在ノヤ

モノハ東北地方デハ出來ルダケ消化セラレルコトハ豫想セラレルコトデアリ、又サウスベキデアルト考ヘテ居リマス  
ソレカラ三番目ニ物動ノ御話ガアリマシタ、是ハ非常ニ重要ナ點デゴザイマス、現在ニ於テ主ナモノハ殆ド物動計畫ニ入ツテ居ラナケレバ、増産モ配給モ出來ナイノデアリマス、此ノ點ハ吾々モ非常ニ頭ヲ痛メル點デゴザイマス、先程申シマシタ振興計畫デ色々ナ仕事ヲヤリマスニ付テ、例ヘバ或ル鐵鋼業ヲ起ス、或ハ銅、鉛、亞鉛ノ增産ヲスルニ要スル資材ハ大變ナモノデゴザイマスガ、是ガ果シテ一定ノ計畫通り確保出来ルカドウカト云フコトハ、今カラソレヲハツキリ言フコトハ出來マセヌ、御承知ノヤウニ物動ハ間近ニナツテ決マルモノデアリマス、ソレデ吾々ハ計畫ヲ立テマス前ニ、其ノ方面ニ關係ノ深イ人ニ、豫メ色々ナ點ニ付テ相談ニ乘ツテ貰ヒマシテ、立てマス計畫ガ空ナモノニナラナイヤウニ、成ベク實際ノ場合ニ即シテソレガ實現出來ルヤウニ工夫シテ参リマスガ、併シソレハ豫メノ問題デゴザイマスカラ、イザ計畫ヲ立ツタト云フ場合ニ、コチラノ考ヘテ居ルモノガ入ラナカツタリスルコトノ生ズルコトハアルダラウト考ヘマスガ、成ベク計畫ト實際トガ一致スルヤウニハ心掛ケテ居リマス

東北冷害問題カラ發シタモノデアル、隨テ肥料トカ土管ノ問題ハ、是カラ東北振興會社デ力ヲ入レテ行クノダ、冒頭ニ掲ゲタ目的ニ何等今マデ手ヲ着ケズシテヤツテ居ツタ、是カラヤルノダト云フヤウニ私共拜體シテ、非常ニ心強ク感ジタノデス、サウスルト會社デサウ云フ土管ナリ肥料ヲ作ツタガケデハ、東北振興ノ抑々發足デアル冷害問題ニ對シテ何等合ハナイ、ソコデ其ノ次ニ東北振興會社ノ性格ノ問題ガ登場シテ來ル、今日國土計畫上カラ言ツタラ、東北振興計畫ト云フモノハ當然樹立セラレル、ソレノ一つノ方法トシテノ東北振興會社ノ増資トナツテ現ハレタコトハ私共存ジテ居リマスシ、又東北振興會社ノ傍系會社トシテ作ツタモノハ、全部ソレヲ東北ニ廻セト云フコトハ、今日ノ國家ノ狀態ニ於テ、東北ノ者ガ主張スルモノデハナイノデス、先程ノ金子サンニ對スル御答辯ヲズツト推測シテ參リマスト、土管ナリ肥料ナリハ、東北ノ冷害ノ發足カラ考ヘラレタモノデアルカラ、捨ヘタ物ハ當然優先的配給ヲスルノダト云フ結果ニナルダラウト思フ、ソレデ私ハ聞イタノデスガ、ソレハ輸送力ノ便宜上ノ問題カラモ斯ウ云フヤウニナル、私ノ聞イタノハ其ノ點ナノデアリマシテ、私共ハ便宜上ノ問題デナク、先程局長ガ仰セラレマシタヤウニ、東北冷害ヲ取除クコトガ發足ニナツテ考へ出サレタ東北振興問題デアルカラ、土管ナリ肥料ナリハ輸送力切迫ト云フモノヲ念頭ニ、置カズニ、物動方面デチヤント決マツテ居ルカラ、ド

ンナニ餘計吳レト言ツテモ吳レル筈ハアリマス  
マセヌケレドモ、唯サウ云フ性格ヲハツキ  
リシテ貰ハナケレバナラナイ、斯ウ云フヤ  
ウニ私ハ主張スルノデアリマシテ、東北振  
興會社ノ問題ハ後日御尋ネ致シタイト思ヒ  
マスカラ、其ノ點ハ留保致シテ置キマス  
ガ、農村ノ部面ニドウ云フ關係ヲ持ツテ  
居ルカト云フコトガ、今日東北振興會社  
ノ性格ノ問題カラ言ツテ、重要ナ問題トナ  
ツテ登場シテ來テ居ル、是ハ同時ニ國土計  
畫ノ一部分トシテ、東北地方ヲ如何ニ振興  
サセテ行クカト云フ重大ナ問題ニマデ觸レ  
テ參ルノデアリマス、此ノ點ハ十分ニ質問  
應答致シタイト思フノデアリマス、問題ハ  
ソコナンデゴザイマス、性格上ノ問題ニ付  
テ私ハ御聽キシテ居ルノデアリマシテ、ドウ  
ウヅサウ云フ點ヲ十分ニ御考ヘ下サルヤウ  
ニ御願ヒシタイト思ヒマス、現ニ私共ハ昨  
年會社ノ御案内ニ依リマシテ疏安ノ肥料會  
社ニ参リマシタ時ニ、澤山ノ疏安肥料ガ、  
上ノ方カラ流シテ來ルモノデスカラ、富士  
山ノヤウナ格好ラシテ工場内ニ澤山、三箇  
所モ四箇所モ積マレテ居リマシタ時ニ、私  
共農村ニ關係アル者ハ、アノ疏安肥料ノ前  
ニ行ツテ——肥料ノ大事ナ今日デアリマス  
カラ、非常ニ敬虔ナ面持ニナツテ敬禮サヘ  
シタカツタヤウナ氣持デアリマシタ、サウシ  
テ同時ニ此ノ肥料工場デ作ラレタ肥料ガ、  
而モ原料ガ全部東北ノ原料デアツテ、此ノ  
肥料ガ非常ニ少イ今日ニ於テ、之ヲ東北ノ  
農村ニ廻サレタナラバ、吾々ハドンナニ嬉  
シイカト言ツテ、皆見タ人ハサウ云フ感  
ジヲ抱イタ譯デアリマス、デアリマスカラ、  
サウ云フ點ヲ御考ヘ下サイマシテ、此ノ

肥料ノ問題ハ今後東北振興會社ノ重要なアル仕事ニナツテ來ルノデアリマスルカラ、ドウゾサウ云フ便宜論ノ意味デハナクシテ、誌リ輸送力ト云フヤウナ一時的ナ問題ノ關係ニ依ラズシテ、東北ノ農村ノ振興ト云フ面ニ付テ之ヲピツタリ合ハセテ、サウシテ分配給上ノ問題ニ付テ考へテ戴カナケレバ、本當ニ冷害ノ克服ト云フコトニハナラスト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモウ一度御意見ヲ承リタイト思ヒマス○宇都宮政府委員　御話ノヤウニ東北デ造ツタモノヲ東北デ使フノハ、單ニ輸送ノ便宜カラト云フ意味デナイコトハ私モ同感ニ思ヒマス、併シ東北デ造リマシタモノ、例ヘ肥料ニ致シマシテモ、東北デ造ツタモノデアルカラ之ヲ直グ東北ニ優先的ニ優先的ニト云フ言葉ノ使ヒ方モアリマスケレドモ、優先的ニト云フコトヲ表面カラ言ヒマスコトハドンナモノカト思ヒマス、實際此ノ東北デ肥料ヲ製造スル計畫ヲ立てマス時ニ、東北デ要ル硫安ハ凡ソドノ位ト云フコトヲ考ヘニ入レマシテ、サウシテ此ノ需要ニ合ハセルヤウナ所マデ造ツテ行カウデヤナカト云フ風ナ頭デ實ハ計畫ヲ立てマシテ、眞白ニ出テ來タ硫安ヲ、俺ノ所ニ眞先ニ寄越セト云フコトヲ、具體的問題デ言フト云フコトハ、統制ノアリマス現在トシテハ一寸表向キハ言ヘナイノデヤナイカ、是ハ實際ノ運用ニハ單ニ便宜ダケデナシニ、東北新興ト云フモノノ精神ヲ酌ンデ出来タ此ノ製品ニ對スル、ソレドノ當局ノ態度ト云フコトハ相當アルシ、又アラセナクチヤナラヌモノダト云フ風ニ考へテ居リマス、ソレデ其ノ製造シタモノハ、單ニ便宜論デナイト云フコトダケ申上ガテ置キマ

○前田委員長 關聯質問トシテ楠美省吾君  
ニ發言ヲ許可シマス——楠美君  
○楠美委員 只今阿子島委員ガ言ツタコトヲ或る意味ニ於テ敷衍スルヤウナコトニナリマスガ、只今政府委員ノ説明ヲ聽キマシテモ、昭和十八年度カラ二十三年マデ一億六千万圓金ヲ使フ、化學工業ニ八千万圓、金屬工業ニ一千五百万圓、機械工業ニ一千七百万圓、鑛山方面ニ三千三百万圓、斯ウ云フ金ノ使ヒ方ヲ見マシテモ、日本ノ國全體トシテモ、今農業日本ガ工業日本ニ傾カウトシテ居ル場合ニ於テ、一番大事ナ農村農場ヲ持ツテ居ル東北モ亦工業東北ニ傾ケヨウトシテ、指導シテ居ルヤウニ私ハ見受ケルノデアリマス、ソレハ土管ノ配給モ、色々アルデセウガ、サウ云フ問題デナク、モウ一步深ク、曾テ農本滿洲ガ工業滿洲ニナリ掛ケタ失敗ヲ、東北モ亦ヤリ掛ケテ居ルノデヤナイカ、時勢ノ要求ニ依ツテ仕方ガナイト言ヘバソレマデアリマスルガ、私は東北ノ開發ハ根本的ニ少シ方向ガ違ツテ居ルノデヤナイカ、唯ガ斯ウシタカ分ラヌガ、農業ト云フモノニモツト重點ヲ置イテ、例ヘテ言フナラバ、私開拓事業ヲ以テ全国方々歩クノデアリマスガ、東北ノ川ヤ何カハ殆ド自然ノ儘ノ川デ、四國ヤ關西ニ行クト殆ド自然ノ儘ノ川ガナイ、皆改修サレタ川ガ多イノデアリマス、私ノ郷里ノ青森ハ特ニヒドイノデアリマスガ、改修サレタ川ト云フト岩木川一本デ、アトハ人モ殆ド自然ノ儘、大シテ鍊成サレナイ人ガ多イノデアリマスガ、川モ山モ、田モ烟モ、殆ド自然ノ野ツ放シニナツテ居リマス、私ハ斯ウシタ方面ニ東北振興ノ重點ヲ向ケタ

ラモツト宜クナルノデヤナイカ、例ヘテ言フナラバ耕地整理ダトカ、或ハ暗渠排水ノ問題デアルトカ、又現在木材ノ關係ダツテ、唯採スルノミデ植林ヲ餘リ考ヘテ居ラヌガ、サウシタ農業東北ト云フモノヲ救フヤウナ意味デ此ノ東北振興會ガ動キ、又東北局アタリガ指導サレナケレバ、段々日本ガ妙ナ方面ニ——戰サデ仕方ナイト言ヘバソレマデデハアリマスガ、少クトモサウシタ問題ヲ、瑞穂ノ國、農ハ國ノ本ナリト云フ其ノ農ヲ、本當ニ守ル場所ハ何處カト言ヘバ、私は東北一帶ガ一番大事ナ所グラウト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、斯ウシタ方面ニ舵ノ切換ヘヲ、振興會社アタリヲ指導スルノ必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスガ、斯ウシタコトハ如何ニ御考ヘニナリマスカ〇宇都宮政府委員 會社ノ仕事ガ工場鑛山ノ開發ト云フコトニナツテ東北ヲ工業化スル傾キガアルト云フコトデアリマスガ、是ハ東北興業會社ノヤリマス仕事トシテハ、假令肥料ヲ作ルニシテモ工場ヲ作ルト云フコトニナリマスノデ、會社ノ仕事ト致シマシテハ、工場ヲ作ル、或ハ鑛山ヲ開發スルト云フコトニナラザルヲ得ナイノデアリマス、會社自身ニ冷害防止ノコトトカ、暗渠排水ノコトヲヤレト言ヒマシテモ、是ハ中申事トシテ會社ニハ適當シ兼ネル場面デ、日本ノ斯ウシタ非常時局ニ、アノ大キナ資源ガ間ニ合ハナイデ困ツテ居ルノモアリマスガ、東北六縣ノ各長官ニ會ツテモ其ノ嘆聲デ、日本ノ斯ウシタ非常時局ニ、アノ大キナ資源ガ間ニ合ハナイデ困ツテ居ルノモアリマスカ、東北六縣ノ各長官ニ會ツテモ其ノ嘆聲ヲ洩ラシテ居ルヤウデアリマスガ、東北局長ト致シマシテ、會社ノ指導バカリデナク、サウ云フ方面ニモツト根本ニ——ヤツテ居ラレルト云ヘバソレマデアリマスルガ、私ノ眼ニ見エル東北ノ山野ト云フモノハ、殆ド野放シノ儘、特ニ私川ヲ見テブツ魂ゲタノデアリマスガ、殆ンド自然ノ儘ノ川ノミガ多イ、サウ云フ方面ニモツト根本のニ

マスガ、之ニ盛ラレマシタ豫算ト云フモノハ非常ニ澤山ノモノガ計上サレテ居リマス、斯ウ云フ方面カラ東北地方ノ農業其ノモノノ指導ト云フ風ニ行クノガ宜イノデハナイカ、會社ノ仕事ト致シマシテハ先程申シタヤウニ、ヤハリ現在ノヤウナ、結局出夕所ハ工場ヲ立デル、其ノ製品ヲ出ス、或ハ鑛山ヲ開發スルト云フコトニナラザルヲ得ナインデアリマシテ、又は全國的ナ所謂國土計畫ノ建前カラ言ヒマシテモ、東北地方ニ重要ナル工場ヲ作ルト云フコトガ有利ナコトニナル譯デアリマス、會社トシマシテハ大キナル方針、ヤハリ斯ウ云フ形デ行クノガ適當デヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○楠美委員 一寸若干ゴツチヤニシテ御質問申上げタヤウナ感モアリマスルガ、全面的に東北ノ色々ノ動キヲ見マシテ、東北興業株式會社ノ動キバカリデナク、私ハ今コソ本當ニ東北ガ立上ル時ダン、又明治御維新以来餘リニ今マデノ政府ハ東北ヲ蔑シロニシタト言ヘバ何デゴザイマスガ、殆ンド白河シテハ、工場ヲ作ル、或ハ鑛山ヲ開發スルト云フコトニナラザルヲ得ナイノデアリマス、會社自身ニ冷害防止ノコトトカ、暗渠排水ノコトヲヤレト言ヒマシテモ、是ハ中申事トシテ會社ニハ適當シ兼ネル場面デ、日本ノ斯ウシタ非常時局ニ、アノ大キナ資源ガ間ニ合ハナイデ困ツテ居ルノモアリマスカ、東北六縣ノ各長官ニ會ツテモ其ノ嘆聲デ、日本ノ斯ウシタ非常時局ニ、アノ大キナ資源ガ間ニ合ハナイデ困ツテ居ルノモアリマスカ、東北六縣ノ各長官ニ會ツテモ其ノ嘆聲ヲ洩ラシテ居ル相當ナ人ヲ満洲ニ連レテ行ク、サウシテリマシタモノデアリマス、東北方面ニ於ケル相當ナ人モアリマス、河川改修ト云フコトニモ非常ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○楠美委員 ソレカラ開拓助成ノ御話デアリマスガ、是ハ農林省カラ出シテ居ル移民ノ計畫ヲ採リマシタモノデアリマス、東北方面ニ於ケル相當ナ人モアリマス、河川改修ト云フコトニモ非常ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居リマス、會社ノ指導バカリデナク、サウ云フ方面ニモツト根本ニ——ヤツテ居ラレルト云ヘバソレマデアリマスルガ、私ノ眼ニ見エル東北ノ山野ト云フモノハ、殆ド野放シノ儘、特ニ私川ヲ見テブツ魂ゲタノデアリマスガ、殆ンド自然ノ儘ノ川ノミガ多イ、サウ云フ方面ニモツト根本のニ

マスガ、之ニ盛ラレマシタ豫算ト云フモノハ非常ニ澤山ノモノガ計上サレテ居リマス、斯ウ云フ方面カラ東北地方ノ農業其ノモノノ指導ト云フ風ニ行クノガ宜イノデハナイカ、會社ノ仕事ト致シマシテハ先程申シタヤウニ、ヤハリ現在ノヤウナ、結局出夕所ハ工場ヲ立デル、其ノ製品ヲ出ス、或ハ鑛山ヲ開發スルト云フコトニナラザルヲ得ナインデアリマスガ、此ノ答申ノ中ノ十五頁ニ、開拓助成ト云フノガゴザイマスガ、滿洲開拓ニ關スル施設ヲ擴充強化シテ云々トアル、其ノ所要經費ハ五箇年九百六十八万五千圓、是ハ大東亞省ニ使ハセル金ニナツテ居ルノデスカ、ソレトモ別箇ニ何カサウシタ方面ノ案デモアルノデスカ

○宇都宮政府委員 初メニ東北ノ山野ノ状況申上げタヤウナ感モアリマスルガ、是ハ全ク同感デゴザイマス、東北ノ川デ石垣ガ築イテ居ルヤウナ川ハ大變少イ、大低自然ニ流レテ居ル所ガ多イ、是ハ洵ニ殘念ナコトデ、早ク改修シナケレバナラヌノデアリマスガ、今ノヤウナ時勢ニナリマスト一層難カシクナリ、港灣ノ改修ヨリモ、更ニ後ノ順序ニセラレテ居ルヤウニ私ハ推測致シマス、御承知カト思ヒマスガ、大キイ河川デ今年度豫算ニ載ツテ居ルノモアリマスガ、無論是ダケデハ不十分極マルモノデアリマス、河川改修ト云フコトニモ非常ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○楠美委員 ソレカラ開拓助成ノ御話デアリマスガ、是ハ農林省カラ出シテ居ル移民ノ計畫ヲ採リマシタモノデアリマス、東北方面ニ於ケル相當ナ人モアリマス、河川改修ト云フコトニモ非常ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居リマス、會社ノ指導バカリデナク、サウ云フ方面ニモツト根本ニ——ヤツテ居ラレルト云ヘバソレマデアリマスルガ、私ノ眼ニ見エル東北ノ山野ト云フモノハ、殆ド野放シノ儘、特ニ私川ヲ見テブツ魂ゲタノデアリマスガ、殆ンド自然ノ儘ノ川ノミガ多イ、サウ云フ方面ニモツト根本のニ

シテ、主トシテ開拓事業、百姓ノ仕事ヲヤツテ、今モヤツテ居ルノデアリマスガ、拓務省ノ割當其ノ他指導ノ方針ヲ見ルト、殆ド實績主義デ、重點的ナ指導ハ何モナイノデアリマス、私ハ日本ノ非常ニ南北ニ流レテ居ル良イ地形ヲ利用シテ、是カラ東西南北、世界ニ日本ノ八紘一字ヲ顯現スベク發展シナケンバナラヌ大日本デアリマシテ、満洲ト東北ノ地位ト云フモノハ、氣候風土ガ非常ニ類似シタ點ガ多イノデアリマス、私ハ少クトモ満洲國ノ開發位ハ、東北六縣ニ北海道ヲ入レテ、一道六縣位デ引受ケナケレバナラヌノデハナイカ、其ノ位ニ現在考ヘテ居リマス、モウ日本ハ植民時代デアル、拓植時代デアル、海外進出ノ時代ニ完全ニ入ツテ居ル之ヲ完成スルカ否カハ、私ニ言ハセレバ本當ノ意味ノ戰デアツテ、陸、海、空軍ノ戰ノミガ戰デハナイト考ハ殆ド治マツテ行カナイ、人垣ヲ築イテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレニ伴ツタ戰後ノ經營、私ハ殆ド治マツテ行カナイ、人垣ヲ築イテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、滿洲開拓ト云フ問題ノ思ツテ居ルノデアリマスガ、滿洲開拓ノ長官ナリ、又指導者スウ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ要綱ニモ上ツテ居リマシテ、私非常ニ愉快ニ思ツテ居ルノデアリマスガ、滿洲開拓ト云フ問題ノ聲ガ少い、大東亞ヲ審議スル議會ニナツ戴カナケレバナラヌ可ナリ大キナ問題グト思ツテ居リマス、議會ニ於テモサウシタ意味ノ聲ガ少い、大東亞ヲ審議スル議會ニナツテ居ナイヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、小サ都制案トカ市町村制トカ、サウシタモノ

ニハ血道ヲ擧ゲルケレドモ、大キナ吾々ガアノ大曠野ヲ開拓サセルニハ最モ良イ素質ヲ持ツテ居ル、而モ私ハ日本民族ハ南進スベキデナクテ、北進スベキモノデアル、レバナラヌト考ヘテ居リマス、現在ノ獨「ゾ」戰ヲ見テモ、「ソ」聯ガ弱クナインヲ見テソレハ分ル筈デアリマス、サウ云フ意味ニ於テモツト満洲開拓、北方進出ト云フヤウondonシテ戴キタイノデアリマス、斯ウ云トヲ大キク取上げ、又其ノ施設ナドモドンドンシテ戴キタイノデアリマス、斯ウ云フコトニ關シテノ御所見ヲ伺ヒタイ○宇都宮政府委員 御詰ノ點ハ非常ニ難カシイコトデゴザイマシテ、東北ノ人ヲ是カラモツトドン／＼出スノカ出サナイノカ、ドウモハツキリシナインデアリマス、誰ガノ大東亞經綸ノ肚ガ出來テ居ラスト言ヒタイ、是ハ局長一人ニ言フコトヲ言ハズテ或ル委員會デ削除サレタ部分モアルノデアリマス、指導サレル者ハ大東亞經綸ノ氣魄ガ出來テ居ツテモ、指導スル面ニ於テノ大東亞經綸ノ肚ガ出來テ居ラスト言ヒタイ、是ハ局長一人ニ言フコトヲ言ハツキリ東北局長ニ持ツテ戴キタイ、東北ノ體制ガ出來テ居ラスト考ヘテ居リマス、一ツノ例ヲ青森縣ニ取ツテ見テモ、青森縣ニハ拓務係ハ三名居リマスガ、是ハ拓務付テハ西モ東モ分ラヌ、私ニ言ハセレバマルデ子供ノ如キモノデアル、ソレ等ノ人ニ指導サレテ居ル青森縣ノ百姓ハドン／＼満洲ニ行ツテ居ル、開拓事業ノ盛ンナノハ長野縣、ソレカラ山形縣デアルガ、第三番目ニ今盛シニナツテ居ルノハ青森縣デアリマス、是ハ吾々ガ指導シタノデモ、縣ノ拓務係ガ指導ヲシタノデモナイ、青森縣ノ百姓ハ満洲ノ現狀ト自分ノ生活トヲ見テ、コチラデシタ空氣ニナラヌデモ完全ニ植民時代ニ入コトガ分ツテ、ソコニ流レテ居ル空氣ヲ認識シテ居ルカラ、ドン／＼出テ行ク、サウシテ居ルヨリハ向フノ方ガ宜イト云フト云フモノハ、此處デ御分リ願ヘルト思ヒマスガ、ツテ居リマスガ、併シ東北カラレダケノ人ヲ持ツテ行クノカ、サウシテ東北ニ残ツト云フモノハ、閣議デ御承知ノヤウニ決マツテ居リマスガ、モナリマス、サウシタ意味デモツト肚構ヘ作ツテ、少クトモ満洲ト東北ダケハモツト繫イデ戴キタイ、私ハ斯ウ思フノデアリマス、ドウゾ宜シク御願ヒシマス

○宇都宮政府委員 滿洲ヘ移住サセル計畫ト云フモノハ、閣議デ御承知ノヤウニ決マツテ居リマスガ、併シ東北カラレダケノ人ヲ持ツテ行クノカ、サウシテ東北ニ残ツタ人ハドレダケノ人口ヲ適當トシテ、耕地ガ一人當り、若クハ一戸當リ幾ラニナルカドレダケノ人ヲ持ツテ行クト云フコトハ寸申シ兼ネルト思フノデアリマスガ、併シ行ツテモ、長野縣ノ讀書村ノ例ヲ見テモ、

個人的ニ大凡ノ肚積リ、兎ニ角モツト出シ  
テ宜イノカ、モツト出シテハ惡イノカト云  
フ位ノコトハ見當ハ付クト思ヒマス、又其  
ノ見當ガ付カズニ仕事ガ出來ル譯ノモノデ  
ハアリマセヌ、正確ノ所ハ申上ゲルコトハ  
出來ナイノデアリマス、唯モウ一ツ申上ゲ  
テ置キタイノハ、内地ノ色々ナ工業方面、  
殊ニ軍需工業方面ニ非常ニ勞力ガ要リマシ  
テ、東北ノ人ガソツチノ方ニ需要セラレテ  
居リマス、ソツチノ方ニモ非常ニ需要ガア  
ルト云フコトハ頭ニ置イテ行カナケレバイ  
カヌデヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマ

ス

○前田委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、  
明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時二分散會

〔参照〕

永野委員要求ノ参考資料

一 東北地方ニ於ケル鐵鑛資源(特ニ砂鐵)  
ノ分布狀態及其ノ數量

二 東北ニ於ケル砂鐵利用、製鐵所ノ現  
狀

濱田委員要求ノ参考資料

一 支那事變以來今日ニ至ル下士官、兵ニ  
對スル扶助料支給ノ總額及件數

小野寺委員要求ノ参考資料

一 東北興業會社ノ最近ノ損益計算書

昭和十八年三月一日印刷

昭和十八年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局